

【一般科目】（コミュニケーション情報学科）

教育課程	2-1	法学	第4学年	2-43	
数学	第1学年	2-2	経済学	第4学年	2-44
理科	第1学年	2-3	体育	第4学年	2-45
英語A	第1学年	2-4	日本語特論Ⅱ	第4学年	2-46
英語B	第1学年	2-5	英語	第5学年	2-47
英会話A-1	第1学年	2-6	人間科学特講	第5学年	2-48
英会話A-2	第1学年	2-7	体育	第5学年	2-49
日本語1	第1学年	2-8	日本語特論Ⅱ	第5学年	2-50
日本語2	第1学年	2-9			
人文・社会科学基礎IA	第1学年	2-10			
人文・社会科学基礎IB	第1学年	2-11			
人文・社会科学基礎ⅡA	第1学年	2-12			
人文・社会科学基礎ⅡB	第1学年	2-13			
保健・体育	第1学年	2-14			
数学	第2学年	2-15			
理科	第2学年	2-16			
英語A	第2学年	2-17			
英語B	第2学年	2-18			
英会話B	第2学年	2-19			
日本語1	第2学年	2-20			
日本語2	第2学年	2-21			
人文・社会科学基礎A	第2学年	2-22			
人文・社会科学基礎B	第2学年	2-23			
保健・体育	第2学年	2-24			
美術	第2学年	2-25			
近代経済史	第2学年	2-26			
社会科学調査法	第2学年	2-27			
ミニ研究	第2学年	2-28			
生物	第3学年	2-29			
英語A	第3学年	2-30			
英会話	第3学年	2-31			
英語特論	第3学年	2-32			
日本語特論Ⅰ	第3学年	2-33			
地理	第3学年	2-34			
保健・体育	第3学年	2-35			
英語	第4学年	2-36			
英語特論	第4学年	2-37			
文学（現代）	第4学年	2-38			
文学（古典）	第4学年	2-39			
文学（現代）	第4学年	2-40			
文学（古典）	第4学年	2-41			
文学（古典）	第4学年	2-42			

平成18年度 学年別教育課程

[一般科目]その2
(コミュニケーション情報学科)

授業科目		単位数	学 年 別					備 考	
			1	2	3	4	5		
必修科目	数 学	数 学	3	3					
	理 科	理 科	2	2					
		生 物			2				
	英 語		英 語 A	3	3	4			
			英 語 B	2	2				
			英 会 話 A - 1	2					
			英 会 話 A - 2	2					
			英 会 話 B		2				
			英 会 話			2			
			英 語				2	1	
			英 語 特 論			2	2		
	日 本 語		日 本 語 1	2	2				
			日 本 語 2	2	2				
			日 本 語 特 論 I			2			
			文 学				1		
	人文社会		人文・社会科学基礎 I A	1					
			人文・社会科学基礎 I B	1					
			人文・社会科学基礎 II A	1					
			人文・社会科学基礎 II B	1					
			人文・社会科学概論 A		1				
			人文・社会科学概論 B		1				
			社会科学調査法		1				
			近代経済史		1				
			地 理			2			
			法 学				2		
			経 済 学				2		
			人間科学特講					2	
	保健体育		保 健 ・ 体 育	2	2	2			
			体 育				1	1	
	芸 術		美 術		1				
ミ		二 研 究		1					
開設単位小計			24	24	16	10	4		
選択科目	日 本 語	日 本 語 特 論 II				1	1		
	課 題	演 習				1~2			
	開設単位小計(課題演習を除く)			0	0	0	1	1	
開設単位合計 (課題演習を除く)			24	24	16	11	5		
修得可能単位数 (課題演習を除く)			24	24	16	11	5		

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
数学 Mathematics	1	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	飯間 康則
授業概要	演習を重んじた数学の授業を行う。				
到達目標	(1) 数式の計算に習熟し、整式の因数分解や平方根の取り扱いができる。 (2) 2次方程式、2次不等式が解け、2次関数のグラフが描ける。 (3) 三角比および三角関数を理解し、応用として正弦定理、余弦定理を利用できる。 (4) 順列、組み合わせの数を理解し、応用として簡単な確率の計算ができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1). (B-2).				
履修上の注意	必ず復習をし、数多くの演習問題を解く。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	1. 式の計算		(1) 整式の基本		
第2週	同上		(2) 整式の乗法		
第3週	同上		(3) 因数分解		
第4週	2. 実数		(1) 有理数、無理数、実数		
第5週	同上		(2) 平方根		
第6週	3. 方程式と不等式		(1) 不等式の性質		
第7週	前期中間試験				
第8週	1. 式の計算		(2) 1次不等式とその応用		
第9週	同上		(3) 2次方程式の解の公式		
第10週	同上		(4) 2次方程式の実数解の個数		
第11週	同上		(5) 2次方程式の応用		
第12週	4. 2次関数とそのグラフ		(1) 関数とグラフ		
第13週	同上		(2) 2次関数のグラフ		
第14週	同上		(3) 2次関数の最大最小		
第15週	同上		(4) 2次関数のグラフと2次不等式		
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	4. 図形と計量		(1) 鋭角の三角比		
第17週	同上		(2) 三角比の拡張		
第18週	同上		(3) 三角形への応用・正弦定理・余弦定理		
第19週	同上		(4) 三角形の面積・球の体積と表面積		
第20週	5. 集合と論理		(1) 集合と要素の個数		
第21週	同上		(2) 命題と集合		
第22週	後期中間試験				
第23週	同上		(3) 命題と証明		
第24週	同上		(1) 順列と組み合わせ		
第25週	同上		(2) 2項定理		
第26週	7. 確率の基本性質		(1) 確率の意味		
第27週	同上		(2) 確率の基本性質		
第28週	同上		(3) 独立試行の確率		
第29週	同上		(4) 反復試行の確率		
第30週	同上		(5) 期待値		
後期期末試験	実施する				
教科書	新編数学 I (旺文社) 新編数学A (旺文社); 数学A トラッド (旺文社) 数学I トラッド (旺文社)				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績70%、課題・小テスト等30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
理科 Science	1	2 (60)	必修	通年 週2時間 A	榎田 正行
授業概要	物質や事象に関して生徒の化学に親しみ、科学技術進歩と人間生活との関わりを学ぶ。原子、分子と化学反応、無機物質・有機化合物を学習する。				
到達目標	①元素の周期表、原子の結合および結合エネルギーから熱化学反応を理解すること。 ②有機化合物の特徴と構造、脂肪族化合物、糖を学ぶこと。 ③また、食物の栄養と健康や環境と生命の関連を理解すること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1), (B-4).				
履修上の注意	科学の基礎的な文語を正しく理解する。原子・分子・イオンなどの基本粒子が物質を形成していることを念頭におき学習する。				
授業計画	授業項目			理解すべき内容	
前期 第1週	物質の構成、物質と人間生活			化学とその役割、物質の成分	
第2週	物質の構成元素			元素、同素体、元素の確認	
第3週	原子の構造と周期律			原子の構造、元素の相互関係	
第4週	実験:成分元素			炎色反応・分光	
第5週	物質を構成する粒子			イオンの生成とエネルギー・イオン結合	
第6週	物質の形成			分子からできる物質、原子からできる物質	
第7週	前期中間試験				
第8週	物質量と濃度			アボガドロ数とモル・アボガドロの法則	
第9週	物質の変化			化学反応式、化学変化と量的関係	
第10週	反応熱と熱化学方程式、ヘスの法則			熱化学方程式、ヘスの法則	
第11週	問題演習			化学反応式、熱化学方程式の理解	
第12週	酸と塩基の反応			酸と塩基、水素イオン濃度	
第13週	中和と塩、中和滴定			中和、塩とその種類、中和に於ける塩・塩基の量的関係	
第14週	実験			実験:中和滴定による濃度決定	
第15週	演習			6週間の授業を総括し、演習をして理解を深める	
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	酸化還元反応			酸化と還元	
第17週	電池、電気分解			種々の電池、電気分解	
第18週	無機物質			非金属元素の単体と化合物	
第19週	種々の化合物			硫黄、窒素、リン、炭素、ケイ素の化合物	
第20週	典型金属元素の単体と化合物			アルカリ金属、アルカリ土類金属とその化合物	
第21週	亜鉛・アルミニウム・スズ・鉛とその化合物			亜鉛・アルミニウム・スズ・鉛とその化合物	
第22週	後期中間試験				
第23週	遷移元素の単体と化合物			遷移元素とその化合物	
第24週	有機化合物			有機化合物の特徴と構造	
第25週	脂肪族炭化水素			アルカンとシクロアルカン、アルケンとアルキン	
第26週	酸素を含む脂肪族化合物			アルコールとエーテル、アルデヒドとケトン	
第27週	酸素を含む脂肪族化合物			カルボン酸とエステル、油脂とセッケン	
第28週	芳香族化合物			芳香族炭化水素、酸素を含む芳香族化合物	
第29週	芳香族化合物			窒素を含む芳香族化合物	
第30週	まとめ(学年末試験の解説)			まとめ、化学の学習の意義を考える	
後期期末試験	実施する				
教科書	高等学校 化学 I 佐野博敏 他22名 編 第一学習社、ダイナミックワイド図説化学 堀内和夫他5名 東京書籍				
参考図書	元素111の新知識 桜井 弘 編 講談社				
評価方法	定期試験の成績を70%、小テストや課題の総点を30%として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語A English A	1	3 (90)	必修	通年 週3時間 B	西山 公紀
授業概要	読み聞きした英語の内容を理解し、情報や考えを英語で伝える基礎的能力を養う。				
到達目標	発音、単語、熟語、基本構文の習得を通じて、英文を理解するのに必要な基礎学力の向上をめざす。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	辞書を用いテキストの予習して授業に臨むこと。習得した発音、語彙、文法、構文等を定着させること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	授業概要等の説明、Lesson 1 Imaging the Next...	授業の進め方、予習方法			
第2週	Lesson 1 Imaging the Next Century	S + V + O (=how to?, thatなど			
第3週	Lesson 1 Imaging the Next Century	to-不定詞・動名詞			
第4週	Lesson 2 Mukai Chiaki lessons from space	S + V + O + to ?, S + V + O + O			
第5週	Lesson 2 Mukai Chiaki lessons from space	受け身、現在分詞・過去分詞			
第6週	Lesson 3 Fifty Years of Snoopy	S+ V+ 現在分詞			
第7週	前期中間試験				
第8週	Lesson 3 Fifty Years of Snoopy	関係代名詞(who, that, which)			
第9週	Lesson 3 Fifty Years of Snoopy	現在完了			
第10週	Lesson 4 Miho Invites Eric to the Movies	Would you like to?			
第11週	Lesson 4 Miho Invites Eric to the Movies	How about doing ?, Could you ?			
第12週	Lesson 5 Look at the Person I Am Inside	It is ...that... 強調構文			
第13週	Lesson 5 Look at the Person I Am Inside	関係副詞 (where)			
第14週	Lesson 5 Look at the Person I Am Inside	過去完了			
第15週	問題演習	前期の総復習			
前期末試験	実施する				
後期 第16週	Lesson 6 The Trip That Changed My Life	S + V + O + 原形不定詞			
第17週	Lesson 6 The Trip That Changed My Life	現在分詞を用いる分詞構文			
第18週	Lesson 6 The Trip That Changed My Life	関係副詞 (when)			
第19週	Lesson 7 The Power Of Music	S + V + O + 現在分詞			
第20週	Lesson 7 The Power Of Music	形式主語 It ...that ...			
第21週	Lesson 7 The Power Of Music	関係副詞 (what)			
第22週	後期中間試験				
第23週	Lesson 8 I Need Some Advice	I suggest ...			
第24週	Lesson 8 I Need Some Advice	First, Second, Third, Finally			
第25週	Lesson 9 Will This Be the Bio-Century	仮定法過去、used to...			
第26週	Lesson 9 Will This Be the Bio-Century	助動詞+受け身、once			
第27週	Lesson 9 Will This Be the Bio-Century	It seems that..., 現在完了進行形			
第28週	Lesson 10 A Homestay - Japanese culture	Could you mind if I ...?			
第29週	Lesson 10 A Homestay - Japanese culture	I'm afraid if I ...			
第30週	問題演習	後期の総復習			
後期末試験	実施する				
教科書	POLESTAR English Course I、南出康世、教研出版、 POLESTAR English Course I、ベーシックノート、南出康世、教研出版、生徒用CD				
参考図書					
評価方法	定期試験を70%、小テスト・課題等を30%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語B English B	1	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	鳥居 孝栄 (石原万里)
授業概要	英語を正しく理解し、英語で自分の考えを表現できるようになるための英文法を身につけさせる。				
到達目標	文法の基本的な概念を習得し、英文を正しく理解できるようになること。また、主要な構文を習得し、英文の理解、表現に活用できるようになること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	テキストの基本例文を習得することに努力するとともに、練習問題を積極的に解くことによって、応用力を養うようにする。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	文の種類	付加疑問文、命令文、感嘆文			
第2週	文の要素と文型(1)	S+V, S+V+C, S+V+O			
第3週	文の要素と文型(2)	S+V+O+O, S+V+O+C			
第4週	時制(1)	現在形、過去形、未来形			
第5週	時制(2)	現在進行形、過去進行形、未来進行形			
第6週	時制(3)	現在完了形、現在完了進行形、			
第7週	前期中間試験				
第8週	時制(4)	過去完了形、未来完了形			
第9週	助動詞(1)	助動詞can / may / mustの用法			
第10週	助動詞(2)	助動詞 should / will / would / shallの用法			
第11週	助動詞(3)	その他の助動詞の用法、助動詞+ have +過去分詞			
第12週	動詞の態(1)	S+V+Oの受動態、受動態の否定形・疑問形			
第13週	動詞の態(2)	S+V+O+O / SVOCの受動態			
第14週	動詞の態(3)	注意すべき受動態			
第15週	問題演習	前期の総復習			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	不定詞(1)	不定詞の名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法			
第17週	不定詞(2)	不定詞の意味上の主語、原形不定詞			
第18週	不定詞(3)	完了不定詞、不定詞を使った重要表現			
第19週	不定詞(4)	独立不定詞、不定詞の慣用表現			
第20週	動名詞(1)	動名詞の基本用法、動名詞の意味上の主語			
第21週	動名詞(2)	完了動名詞、目的語としての動名詞と不定詞			
第22週	後期中間試験				
第23週	動名詞(3)	動名詞の慣用表現			
第24週	分詞(1)	分詞の限定用法、叙述用法			
第25週	分詞(2)	分詞構文の基本形、分詞構文の意味			
第26週	分詞(3)	完了形の分詞構文、独立分詞構文、			
第27週	分詞(4)	分詞の慣用表現			
第28週	比較(1)	原級の比較表現、比較級を使った表現			
第29週	比較(2)	最上級の内容を表す原級・比較級表現			
第30週	問題演習	後期の総復習			
後期期末試験	実施する				
教科書	DUAL SCOPE English Grammar in 45 Stages、小寺茂明監修、教研出版 デュアルスコープ総合英語、小寺茂明監修、教研出版				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を70%、小テスト・課題等を30%で総合評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英会話A-1 English Conversation A-1	1	2 (30)	必修	前期 週2時間 C	坂内 キャシー 渡辺 エリカ
授業概要	The focus of the course is spoken English. Students develop a variety of spoken exercises.				
到達目標	1. Gain fluency in asking and responding to yes/no and wh-questions, and talking about their everyday lives and Japanese culture 2. Gain fluency in expressing opinions with supporting reasons 3. Develop their ability to make short presentations in English 4. Improve their skill at listening for both general and specific information				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4), (F-5), (F-6).				
履修上の注意	Students are expected to actively participate in various activities in class.				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	Course Orientation, Introduction		Course structure		
第2週	Neighbourhoods, Cities and Towns 1		Meeting People		
第3週	Neighbourhoods, Cities and Towns 2		Family		
第4週	Neighbourhoods, Cities and Towns 3		Family		
第5週	Shopping and e-commerce 1		Appearances		
第6週	Shopping and e-commerce 2		Appearances		
第7週	Shopping and e-commerce 3		Jobs; job names, descriptions		
第8週	Friends and Family 1		Jobs; talking and asking about work		
第9週	Friends and Family 2		Jobs; listening test		
第10週	Friends and Family 3		Eating out; talking about favorites		
第11週	Health Care 1		Eating out; ordering food		
第12週	Health Care 2		Eating out; making manues; role planning		
第13週	Social Life 1		Eating out; Preparations		
第14週	Social Life 2		Eating out; Preparations		
第15週	Social life 3		Eating out; Preparations		
前期期末試験	実施しない				
教科書	Interactions Access Listening/Speaking 4th edition, Emily Austin Thrush et al. McGraw Hill				
参考図書					
評価方法	平素の成績(小テスト、課題等)を100%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英会話A-2 English Conversation A-2	1	2 (30)	必修	後期 週 2 時間 C	坂内 キャシー 渡辺 エリカ
授業概要	The focus of the course is spoken English. Students develop a variety of spoken exercises.				
到達目標	1. Gain fluency in asking and responding to yes/no and wh-questions, and talking about their everyday lives and Japanese culture 2. Gain fluency in expressing opinions with supporting reasons 3. Develop their ability to make short presentations in English 4. Improve their skill at listening for both general and specific information				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4), (F-5), (F-6).				
履修上の注意	Students are expected to actively participate in various activities in class.				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	Action Play Action Play Action Play Action Play Ghost Story Ghost Story Ghost Story Ghost Story Ghost Story Christmas Party Life at Kosen Presentations Life at Kosen Presentations Life at Kosen Presentations Life at Kosen Presentations Life at Kosen Presentations 実施しない		Prepare scripts Prepare scripts Presentations Student Performance Listening Practices Introduction Prepare Scripts Prepare Scripts Prepare Scripts Student Performance Introduction Prepare Scripts Prepare Scripts Rehearsal Presentations		
教科書	Interactions Access Listening/Speaking 4th edition, Emily Austin Thrush et al. McGraw Hill				
参考図書					
評価方法	平素の成績(小テスト、課題等)を100%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
日本語1 Japanese 1	1	2 (60)	必修	前期 週4時間 A	大森 房子
授業概要	日本語の理解を深め表現力を養うために評論文、文学作品などさまざまな文章を読み、日本語の言語学上の特質を学ぶ。				
到達目標	内容理解を目的とする読解力養成に加えて自己の考えを的確に伝えるための語彙力と文章力を身につける。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-1), (F-2).				
履修上の注意	辞書を使って語句の意味を調べて予習し、長文内容を自分なりにとらえてくること。				
授業計画	授業項目			理解すべき内容	
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期末試験	小説(1)「鏡」 随想「あのクジラのこと」 随想「真実の鏡」 小説(1)「羅生門」 小説(1)「羅生門」 小説(1)「羅生門」 前期中間試験 詩「しろい春」他2編 短歌15首 俳句12句・現代俳句 評論(1)「自然と人間の間をとおして考える」 評論(1)「自然と人間の間をとおして考える」 評論(1)「自然と人間の間をとおして考える」 評論(1)「地球温暖化問題とは何か」 評論(1)「地球環境問題とは何か」 実施する			日本語の特質 随想の文体 スピーチの文体 芥川の作品と今昔物語 さまざまなエゴイズム 下人の生き方 比喩表現—明喩と隠喩 正岡子規の新しい運動 季語と歳時記 科学文の文体 地域開発と自然保護 理想的な自然保護穂 地球環境問題について 地球温暖化とその対策	
教科書	「国語総合」大修館書店				
参考図書	「日本語新版(上)」金田一春彦、岩波新書				
評価方法	定期試験70%、小テストあるいは課題30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
日本語2 Japanese 2	1	2 (60)	必修	後期 週4時間 A	大森 房子
授業概要	日本語の理解を深め表現力を養うために評論文、文学作品などさまざまな文章を読み、日本語の言語学上の特質を学ぶ。				
到達目標	内容理解を目的とする読解力養成に加えて自己の考えを的確に伝えるための語彙力と文章力を身につける。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-1), (F-2).				
履修上の注意	辞書を使って語句の意味を調べて予習し、長文内容を自分なりにとらえてくること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	評論(2)[ヘンデルと力士] 評論(2)[ヘンデルと力士] 評論(2)[街に出るロボット] 評論(2)[街に出るロボット] 補助教材「外来語表記のゆれ」 さまざまな文章「学位をいただきたいくない」他1編 後期中間試験 古文「なよ竹のかぐや姫」 古文入門「なよ竹のかぐや姫」 古文「絵師良秀」「阿蘇の史」 古文「枕の草子」 古文「枕の草子」 「枕の草子の現代語訳の試み」 日本語「言葉についての新しい認識」 日本語「言葉についての新しい認識」 実施する	古典音楽の役割 音楽の目的と使われ方 科学的な長文の読解 外来語 外来語史と時代による特徴 待遇表現(敬語・謙譲語・美化語) 古典文法と表現 日本語のルーツと昔話の背景 宇治拾遺物語・今昔物語 清少納言の文体 清少納言の文体 体言止めの表現の解釈 文化と言語表現 外来語・和製英語			
教科書	「国語総合」 大修館書店				
参考図書	「日本語新版(上)」 金田一春彦、岩波新書				
評価方法	定期試験70%、小テストあるいは課題30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学基礎IA Introduction to Humanities and Social Sciences IA	1	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	笠井 哲
授業概要	人生の諸問題を正しく判断できるようになるために、西洋古代・中世(ギリシアとキリスト教)と日本古代・中世(神道と仏教)の先哲たちの基本的な思想、すなわち「倫理」を中心に、古代・中世の歴史や青年心理学についても学習する。				
到達目標	①日本古代・中世の歴史・思想・文化や青年心理学を学ぶことによって、各自アイデンティティを確立することができる。 ②西洋古代・中世の哲学・倫理学・宗教だけでなく、文化や習慣等、広義の「倫理」的な事象を理解することができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5).				
履修上の注意	「倫理」という学問の性格上、知識を記憶するだけにとどまらずに、自分で考えて判断することが大切である。自分の問題として考えたことを、自分の言葉で表現(レポート)できるようにすること。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験	倫理とは何か 人間とは何か 青年期の特徴 自己実現とは何か 日本の風土と文化 古代日本の歴史と思想 中世日本の歴史と思想 神話から哲学へ ギリシアの三大哲学者(1) ギリシアの三大哲学者(2) ギリシアの三大哲学者(3) ヘレニズムとヘブライズム キリスト教の成立と思想 イスラム教の成立と思想 まとめ 実施する		倫理および倫理学に関するさまざまな定義 人間に関するさまざまな定義 モラトリアムとアイデンティティの意義 キャリア・ディヴェロップメントの意義 和辻哲郎の『風土』における思想の意義 古代の神々と清明心の意義 日本の仏教、特に鎌倉新仏教の意義 自然哲学者とソフィストの思想的意義 倫理学の祖・ソクラテス プラトンのイデア論 万学の祖・アリストテレスの思想的意義 エピクロスとストア、イスラエルの歴史とユダヤ教 イエスの福音思想の意義とその発展 ムハンマドの思想の意義 青年心理学と倫理学を学ぶ意義		
教科書	哲学・倫理学概論、松島隆裕他、学術図書出版社; 哲学的思索への道、笠井貞他、文化書房博文社; 精選資料新倫理、令文社				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を75%、課題等の総点を25%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学基礎IB Introduction to Humanities and Social Sciences IB	1	1 (30)	必修	後期 週2時間 B	笠井 哲
授業概要	人生の諸問題を正しく判断できるようになるために、西洋近代(宗教改革、カント、功利主義)と東洋(インド・中国)の基本的な思想、すなわち「倫理」を学習する。それとともに、専門職業人に必要な「職業倫理(ビジネス倫理)」について学ぶ。				
到達目標	①西洋近代と東洋の哲学・倫理学・宗教だけでなく、文化や習慣等、広義の「倫理」的な事象を理解することができる。 ②①に基づいて、専門職業人に求められる「職業倫理」、特に「ビジネス倫理」に対する考え方を確立することができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-2), (A-3), (A-4), (A-5).				
履修上の注意	「倫理」という学問の性格上、知識を記憶するだけにとどまらずに、自分で考えて判断することが大切である。自分の問題として考えたことを、自分の言葉で表現(レポート)できるようにすること。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	西洋近代の成立 科学技術思想の成立 カント哲学の成立と意義 功利主義思想の成立と意義 バラモン教の成立と意義 仏教思想の成立 仏教思想の展開 儒家思想の成立と意義 道家思想の成立と意義 応用倫理学入門 職業倫理入門(1) 職業倫理入門(2) ビジネス倫理入門(1) ビジネス倫理入門(2) まとめ 実施する		ルネサンスと宗教改革の思想的意義 ベーコンとデカルトの思想的意義 義務倫理学と道徳法則 最大多数の最大幸福、他者危害の原則 インドの歴史とウパニシャッドの思想 仏陀(釈迦)の生涯と思想 小乗仏教と大乘仏教の思想的意義 孔子・孟子・荀子の思想の意義 老子・荘子の思想の意義 生命倫理と環境倫理の成立と意義 職業倫理に関する諸定義 伝統を踏まえた現代の職業倫理 ビジネス倫理に関する諸定義 ビジネス倫理に関する日米の事例研究 倫理を身につけたビジネスマンとして生きる		
教科書	哲学・倫理学概論、松島隆裕他、学術図書出版社; 哲学的思索への道、笠井貞他、文化書房博文社; 精選資料新倫理、令文社				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を75%、課題等の総点を25%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学基礎ⅡA Introduction to Humanities and Social Sciences ⅡA	1	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	川崎 俊郎
授業概要	現在の世界を理解するために、世界各地の自然・歴史・文化を学習する				
到達目標	①世界各地の自然・歴史・文化の関連性を理解できる。 ②世界各地の文明間の相互作用を理解できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5).				
履修上の注意	授業で講義する内容は、相互に関連しあっているので、ノートの整理を必ず行うこと。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験	東アジア世界1 東アジア世界2 東アジア世界3 東アジア世界4 南・東南アジア世界1 南・東南アジア世界2 南・東南アジア世界3 イスラーム世界1 イスラーム世界2 イスラーム世界3 ヨーロッパ世界1 ヨーロッパ世界2 ヨーロッパ世界3 文明交流のユーラシア 前近代の世界 実施する		中国文明の成立、東アジアの自然環境 遊牧国家の成長、遊牧という生活様式 東アジア文化圏の形成、冊封と朝貢 遊牧民対農耕民、朝鮮半島の自立、日本の地位 インダス文明、アリア人とカースト ヒンドゥ教、イスラム教 熱帯アジア、インドの影響、イスラムと中国の影響 西南アジアと北アフリカの自然、都市文明 イスラームの成立、イスラム帝国 ペルシア・トルコとイスラム、モンゴル帝国 ヨーロッパの自然、ギリシア・ローマ文明 ゲルマンの世界、キリスト教と二つのヨーロッパ ローマ教会、十字軍、封建制の動揺 3つのシルクロード、冒険と交易 各地域の歴史地理的概観、前期の総括		
教科書	高等学校 世界史A、木下康彦ほか、清水書院				
参考図書					
評価方法	定期試験75%、レポートおよび課題25%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学基礎ⅡB Introduction to Humanities and Social Sciences ⅡB	1	1 (30)	必修	後期 週2時間 B	川崎 俊郎
授業概要	現在の世界を理解するうえで、その基本的な枠組みができた、近代以降の世界の歴史を学習する。				
到達目標	①欧米近代社会の成立過程を理解できる。 ②近代資本主義世界とそれに関連する国民国家、植民地、産業革命の特質を理解できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5).				
履修上の注意	授業で講義する内容は、相互に関連しているので、前期の人文・社会科学基礎ⅡAの分も含めて、ノートを整理しておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	大航海時代1 大航海時代2 17・18世紀の世界1 17・18世紀の世界2 17・18世紀の世界3 17・18世紀の世界4 欧米近代社会の展開1 欧米近代社会の展開2 欧米近代社会の展開3 欧米近代社会の展開4 欧米近代社会の展開5 欧米近代社会の展開6 科学技術の時代1 科学技術の時代2 近代社会の光と影 実施する	ヨーロッパからの新航路、ルネサンス アメリカの植民地化、人間の境界線 中華帝国としての清、新興勢力のロシア ムガル帝国、サファビー朝、オスマントルコ 宗教戦争、ルイ14世の政治、フリードリヒ大王の政治 植民地支配、奴隷貿易、アジア貿易、重商主義 農業革命、産業革命、自由主義経済 アメリカ独立革命、合衆国憲法、インディアンと黒人 アンシャンレジーム、フランス革命、ナポレオン ウィーン体制、自由主義と王権、改革と革命 民族と国民、身分と国民、国民の自由と統合 帝国主義、植民地分割、消費社会の成立 規格化と大量生産、人工物質の出現 技術革新の意味、情報化社会 近代社会の特徴のまとめ、後期授業の総括			
教科書	高等学校 世界史A、木下康彦、清水書院				
参考図書					
評価方法	定期試験75%、レポートおよび課題25%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
保健・体育 Health and Physical Education	1	2 (60)	必修	通年 週2時間 C	秋山 秀博 根本昌樹
授業概要	心身の総合的な発達を目指し、基礎的、基本的な運動技術を習得する。現代社会における健康について心身の機能を中心に理解し、自らの健康を保持増進できる能力と態度を養う				
到達目標	①各種運動の実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を目指す。 ②公正、協力、責任等の態度を育てる。 ③生涯を通じて継続的に運動ができる能力を養う。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4).				
履修上の注意	基礎的な体力・技術トレーニングの際、事故のないよう特に授業前日の健康管理に努めること。また、健康上の問題点については、担当教官に必ず事前に申し出ておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	柔道	柔道受講の心得(オリエンテーション)、柔道場と柔道衣			
第2週	柔道	姿勢・組み方・体捌き・体の移動・崩し・受身			
第3週	柔道	受け身・練習の五原則・固技基本動作			
第4週	柔道	受身・膝車・支釣込足			
第5週	柔道	受身・打込・大腰・送足払			
第6週	柔道	受身・打込・投込・大内刈・小内刈・体落・背負投			
第7週	柔道	受身・打込・投込・大外刈・内股・払腰・袈裟固・崩袈裟固			
第8週	柔道	受身・打込・投込・肩固・上四方固・横四方固・縦四方固			
第9週	柔道	受身・打込・投込・投技連絡変化・投技乱取・固技乱取			
第10週	柔道	受身・投技乱取・固技乱取・ルール(審判法)の理解			
第11週	柔道	日本伝講道館柔道の歴史と思想			
第12週	柔道	固技試合(体重別) I			
第13週	柔道、水泳	固技試合(体重別) II、水中運動の特徴・安全に関する心構え・各種泳法 I			
第14週	柔道、水泳	簡易試合・柔道とJUDO、各種泳法 II			
第15週	柔道、水泳	講道館柔道「投の形」「柔の形」、時間泳			
前期期末試験	実施しない				
後期 第16週	体力テスト	屋内種目			
第17週	体力テスト	屋外種目			
第18週	陸上	姿勢・スプリントドリル・加速走			
第19週	陸上	短距離走記録測定			
第20週	陸上	跳躍種目の踏み切り技術・助走練習			
第21週	陸上	短助走による記録測定(三段跳び・走り幅跳び)			
第22週	バレーボール	パス・トス・サーブ練習			
第23週	バレーボール	スパイク・レシーブ練習			
第24週	バレーボール	フォーメーション・パスゲーム			
第25週	バレーボール	リーグ戦			
第26週	保健	体のつくりと働き(体幹・体肢・筋肉系・骨格系)			
第27週	保健	体のつくりと働き(循環器系・呼吸器系)			
第28週	保健	トレーニングの方法			
第29週	保健	運動技能の構造と練習法			
第30週	保健	現代社会におけるスポーツの意義と生涯スポーツの楽しみ方			
後期期末試験	実施する				
教科書	新保健体育、高石昌弘他、大修館				
参考図書	Active Sports 総合版、大修館、新保健ノート、大修館				
評価方法	実技評価・レポート・定期試験を60%、活動記録・課題を40%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
数学 Mathematics	2	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	飯間 康則
授業概要	演習を重んじた数学の授業を行う。				
到達目標	(1) 整式の除法、分数式の計算ができる。 (2) 2次方程式の解と係数の関係を理解し、また因数定理を用いて簡単な高次方程式が解ける。 (3) 三角関数の相互関係、三角関数のグラフ、三角関数の加法定理を理解する。 (4) 指数、対数関数を理解し、計算ができる。 (5) 簡単な関数の導関数が計算でき、関数の増減が調べられる。 (6) 簡単な関数の不定積分が計算でき、図形の面積を求められる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1), (B-2).				
履修上の注意	必ず復習をし、数多くの演習問題を解く。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期末試験 後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期末試験	1. 式と証明 同上 同上 2. 複素数と2次方程式 同上 同上 前期中間試験 同上 3. 図形と式 同上 同上 4. 三角関数 同上 同上 同上 実施する 5. 指数・対数関数 同上 同上 6. 微分 同上 同上 同上 後期中間試験 同上 7. 積分 同上 同上 同上 8. 数列 同上 同上 実施する	(1) 整式の除法 (2) 分数式の加減・乗除 (3) 恒等式 (1) 複素数とその演算 (2) 2次方程式 (3) 解と係数の関係 (4) 高次方程式 (1) 平面上の点と座標 (2) 直線の方程式 (3) 2直線の平行と垂直 (1) 一般角と三角関数 (2) 三角関数の相互関係 (3) いろいろな角の三角関数 (4) 三角関数のグラフと加法定理 (1) 指数法則の拡張 (2) 指数関数 (3) 対数とその性質 (1) 微分係数 (2) 導関数 (3) 導関数の計算 (4) 関数の増減, 極大・極小 (1) 不定積分 (2) 定積分 (3) 不定積分の計算 (4) 面積 (1) 等差数列と等比数列 (2) 数列の和, 総和記号 (3) いろいろな数列			
教科書	新編数学Ⅱ(東京書籍) 新編数学B(東京書籍);ニューアシスト 新編数学Ⅱ+B(東京書籍)				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績70%、課題・小テスト等30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
理科 Science	2	2 (60)	必修	通年 週2時間 A	坂本 道夫
授業概要	物理学の基礎を学ぶ。電磁気・波動・運動とエネルギーについて、それらの現象を日常の生活と結びつけて学習する。				
到達目標	①自然の中にひそむ、少数の基本法則を基礎的な数学をもって表現し理解すること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1), (B-4).				
履修上の注意	科学の基礎的な文語を正しく理解する。エネルギーの概念をもって事象を考え、基礎的な問題の演習を行い理解を深める。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	電気で使われる単位	電流:A 電圧:V 抵抗: Ω 電力:W			
第2週	オームの法則	オームの法則と抵抗の接続			
第3週	電気のはたらき	ジュール熱、自由電子と電流について			
第4週	電気回路	実験:電球抵抗をふくむ回路			
第5週	モーターの原理	磁気力・磁界および電流と磁界。実験:モーターを作る			
第6週	発電機の原理	磁束の変化と誘導起電力および誘導電流			
第7週	前期中間試験				
第8週	演習	問題演習をしながら6週間の授業を総括する			
第9週	交流	変圧器の構造としくみ			
第10週	電波の発生	電波の発生と受信。電磁波の分類とその利用			
第11週	波動	波長: λ 振幅:A 周期:T 振動数:f 波の速さ:V の関係			
第12週	波の表し方	縦波・横波のグラフ化と波動方程式			
第13週	波の干渉	波の独立性と重ね合わせの原理と定常波			
第14週	ホイヘンスの原理	波の回折・反射・屈折の作図			
第15週	演習	問題演習をしながら6週間の授業を総括する			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	音波	音の3要素、音の干渉、うなりの現象			
第17週	固有振動	気柱の固有振動と弦の固有振動			
第18週	音速	実験:音さと気柱の共鳴による音速測定			
第19週	ドップラー効果	音源・観測者ともに動くとき、観測される音の振動数			
第20週	光	色と光の波長、反射・屈折および平面鏡のつくる像			
第21週	光の回折と干渉	実験:ダブルスリットと回折格子による光の波長の測定			
第22週	後期中間試験				
第23週	光の分散と偏光	虹のしくみ、スペクトル、偏光			
第24週	物体の運動	速度・加速度・相対速度			
第25週	力	質量と重力、弾性力、浮力、圧力			
第26週	力の合成と分解	3力のつりあい			
第27週	力のつりあい	力のモーメント 物体の重心			
第28週	運動の法則	慣性の法則・運動の法則・作用反作用の法則			
第29週	運動方程式	斜面上の物体の運動および静止摩擦力と動摩擦力			
第30週	仕事とエネルギー	仕事の原理。力学的エネルギー			
後期期末試験	実施する				
教科書	高等学校 物理 I 兵頭申一 福岡 登他14名 啓林館				
参考図書	歴史をかえた物理実験 霜田光一著 丸善				
評価方法	定期試験の成績を70%、小テストや課題の総点を30%として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語A English A	2	3 (90)	必修	通年 週3時間 B	中山 悟視
授業概要	単語、熟語、文法、構文、発話の知識を養い、英語によるさまざまな音声活動を行う力や、英文の内容を正しく読み取る力を養う。				
到達目標	①テキストに使用されている語彙・文法・構文が理解できる。 ②テキストが伝えようとする内容を理解できる。 ③習得した表現を用いて簡単な英語表現を行うことができる。 ④基本的な英語による音声活動を行うことができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4), (F-5), (F-6).				
履修上の注意	辞書を使って予習し、英文の内容を自分なりに捉えてくること。復習として、練習問題や音読を繰り返すことで、語彙、構文、発話等の定着をはかること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験	Lesson 1 What Happened to Sparky? Lesson 1 What Happened to Sparky? Lesson 2 Hold That Call! Lesson 2 Hold That Call! Lesson 3 Laughter-Everyone's Language Lesson 3 Laughter-Everyone's Language 前期中間試験 Lesson 4 Waste Not, Want Not Lesson 4 Waste Not, Want Not Lesson 4 Waste Not, Want Not Lesson 5 A Trip on the Trains-Siberian Lesson 5 A Trip on the Trains-Siberian Lesson 5 A Trip on the Trains-Siberian Lesson 6 The Negative Sides of Fast Food Lesson 6 The Negative Sides of Fast Food	仮定法現在、過去完了の受身形 関係代名詞のas 過去完了進行形 否定形の不定詞、代名詞のまとめ 関係代名詞の非制限的用法 無生物主語、譲歩の表現 関係副詞のwhy、if節のない仮定法過去 if節のない仮定法過去 助動詞の過去形 関係副詞の非制限的用法 未来完了形 不定詞の副詞的用法 未来進行形、受身の不定詞 不定詞の意味上の主語			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	Lesson 7 Advertising-Selling a Product Lesson 7 Advertising-Selling a Product Lesson 8 Long Walk to Forever Lesson 8 Long Walk to Forever Lesson 9 Human Communication Lesson 9 Human Communication 後期中間試験 Lesson 10 Tourist Watching in Britain Lesson 10 Tourist Watching in Britain Lesson 10 Tourist Watching in Britain Lesson 11 An Observation and an Explanation Lesson 11 An Observation and an Explanation Lesson 12 A Voice from Germany Lesson 12 A Voice from Germany Further Reading When We Were Children 実施する	S+V+O+if[whether, what など] 節 部分否定、使役を表すget as if[though] + 仮定法 形容詞の特殊用法、省略 仮定法過去の特殊な形 さまざまな接続詞 仮定法過去完了 完了形の分詞構文 付帯状況を表すwith 前文を受ける関係代名詞 時制の一致、慣用的な倒置 注意すべき比較表現、注意すべき不定詞の用法 注意すべき分詞構文の用法 既習文法事項の確認			
教科書	New Legend English II, 鈴木英一・Paul Snowden・江藤秀一, 開拓社 New Legend English II Workbook, 開拓社				
参考図書					
評価方法	定期試験を70%、小テスト、課題などを30%として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語B English B	2	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	渡辺 洋太郎
授業概要	英語を正しく理解し、英語で自分の考えを表現できるように基礎的英文法の習得をめざす。				
到達目標	①関係詞の使い分けができる。 ②仮定法過去と仮定法過去完了の違いが理解できる。 ③各前置詞の意味を理解し、使い分けができる。 ④従属接続詞を用いた構文の意味が理解できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4), (F-5), (F-6).				
履修上の注意	テキストの基本例文を習得することに努力するとともに、練習問題を積極的に解くことによって、応用力を養うようにする。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	比較(III)	比較の慣用表現			
第2週	関係詞(I)	関係代名詞の種類と格			
第3週	関係詞(II)	前置詞+関係代名詞、関係代名詞の継続用法			
第4週	関係詞(III)	関係代名詞 what			
第5週	関係詞(IV)	関係副詞			
第6週	関係詞(V)	複合関係代名詞、複合関係副詞			
第7週	前期中間試験				
第8週	仮定法(I)	仮定法過去、仮定法過去完了			
第9週	仮定法(II)	未来の仮定			
第10週	仮定法(III)	願望の表現、仮定法の慣用表現			
第11週	話法(I)	平叙文の伝達			
第12週	話法(II)	疑問文、命令文の伝達			
第13週	話法(III)	重文の伝達			
第14週	名詞(I)	可算名詞、不可算名詞			
第15週	問題演習	前期の総復習			
前期末試験	実施する				
後期 第16週	名詞(II)	複数形、所有格			
第17週	代名詞(I)	it の用法、不定代名詞			
第18週	代名詞(II)	both, either, neither, some, any の用法			
第19週	冠詞(I)	不定冠詞、定冠詞			
第20週	冠詞(II)	無冠詞、冠詞の慣用句			
第21週	前置詞(I)	場所を表す前置詞			
第22週	後期中間試験				
第23週	前置詞(II)	時を表す前置詞			
第24週	前置詞(III)	原因、結果、分離を表す前置詞			
第25週	前置詞(IV)	群前置詞、句動詞			
第26週	接続詞(I)	等位接続詞			
第27週	接続詞(II)	従属接続詞			
第28週	接続詞(III)	従属接続詞を用いた構文の意味			
第29週	接続詞(IV)	従属接続詞を用いた構文の書き換え			
第30週	問題演習	後期の総復習			
後期末試験	実施する				
教科書	A Stepping Stone to English Grammar、荒木一雄編、数研出版				
参考図書					
評価方法	定期試験70%、小テスト20%、課題10%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英会話B English Conversation B	2	2 (60)	必修	通年 週2時間 C	坂内 キャシー Thomas Davis
授業概要	The focus of the course is spoken English. Students develop a variety of spoken exercises.				
到達目標	1. Gain fluency in asking and responding to yes/no and wh-questions, and talking about their everyday lives and Japanese culture 2. Gain fluency in expressing opinions with supporting reasons 3. Develop their ability to make short presentations in English 4. Improve their skill at listening for both general and specific information				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4), (F-5), (F-6).				
履修上の注意	Students are expected to actively participate in various activities in class.				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	Course Orientation	Simple Present/Present Continuous			
第2週	Making Comparisons	Simple Present/Present Continuous			
第3週	Making Comparisons	Counts/Non-Count Nouns			
第4週	Direct & Reported Speech	Counts/Non-Count Nouns			
第5週	Unreal Situations; Wish vs Hope	Count/Non-Count Nouns Imperatives			
第6週	Video Review of Direct/Reported Speech	Count/Non-Count Nouns Imperatives			
第7週	Talking about Work	Future Tense: Will Time Expressions Might			
第8週	Talking about Work	Future Tense: Will Time Expressions Might			
第9週	Giving Directions	Comparatives/Possessive Pronouns			
第10週	Giving Directions	Comparatives/Possessive Pronouns			
第11週	Giving Directions	Superlatives			
第12週	Talking about Past Experiences	Superlatives			
第13週	Talking about Past Experiences	Imperatives/Directions			
第14週	Short Responses (me too/me neither)	Imperatives/Directions			
第15週	English Language Games	Mid-Term Test			
前期末試験	実施しない				
後期 第16週	Talking about the Past (summer vacation)	Adverbs/Comparative of Adverb			
第17週	Talking about the Past	Adverbs/Comparative of Adverb			
第18週	Talking about the Past	Past Continuous Tense			
第19週	Talking about Food	Past Continuous Tense			
第20週	Talking about Food	Could/Be able to/Have got to			
第21週	Talking about Food (pair presentations)	Could/Be able to/Have got to			
第22週	Restaurants	Could/Be able to/Have got to			
第23週	Restaurants (group presentations)	Mustn't vs. Don't Have to/Must vs. Should			
第24週	Suggestions and Telephone English	Mustn't vs. Don't Have to/Must vs. Should			
第25週	Invitations and Negotiating Arrangements	Future Continuous Tense/Time Expressions			
第26週	Talking about Winter Vacations in Japan	Future Continuous Tense/Time Expressions			
第27週	Books, Movies and Television	Some/Any/Pronoun/Review/Verb Tense Review			
第28週	Books, Movies and Television	Some/Any/Pronoun/Review/Verb Tense Review			
第29週	Books, Movies and Television	Review			
第30週	English Board Games	Final Exam			
後期末試験	実施しない				
教科書	Talk a Lot Book Two, David Martin, EFL Press				
参考図書					
評価方法	平素の成績(小テスト、課題等)を100%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
日本語1 Japanese 1	2	2 (60)	必修	前期 週2時間 A	大森 房子
授業概要	評論小説を読み、読解力を養成し論理的な思考力を身につける。書き言葉の基本的な表現、熟語、慣用表現を学ぶ。				
到達目標	自己の考えを文章化し、具体的な根拠や理由をあげて客観性に富む論理を構成する訓練を行う。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-1), (F-2).				
履修上の注意	辞書を引いて予習する。熟語・慣用表現はよく復習しておくこと。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期末試験	日本語「短歌を訳す」 日本語「短歌を訳す」 評論(3)「メディアとしての顔」 評論(3)「メディアとしての顔」 評論(3)「母性と父性の間をゆれる」 評論(3)「母性と父性の間をゆれる」 前期中間試験 俳諧「おくのほそ道」 俳諧「おくのほそ道」 補助教材「福島における芭蕉」 補助教材「福島における芭蕉」 補助教材「日本語の慣用句」 評論(3)「モード化する社会」 評論(3)「モード化する社会」 詩歌「ひとに手紙を」他2編 実施する		日・英語の壁を越える翻訳 英語に訳せないもの 顔の役割 顔の見えない情報媒体 日米の文化の差 文化と言語背景 松尾芭蕉と歌枕 松尾芭蕉と俳諧 白河の関・須賀川 医王寺・飯坂 故事・ことわざ モードの論理 現代の外来語 現代口語詩		
教科書	「国語総合」「精選現代文」大修館書店				
参考図書	「日本語新版(上)」金田一春彦 岩波新書				
評価方法	定期試験70%、小テストあるいは課題30%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
日本語2 Japanese 2	2	2 (60)	必修	後期 週2時間 A	大森 房子
授業概要	評論文小説を読み、読解力を養成し論理的な思考力を身につける。書き言葉の基本的な表現、熟語、慣用表現を学ぶ。				
到達目標	自己の考えを文章化し、具体的な根拠や理由をあげて客観性に富む論理を構成する訓練を行う。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-1), (F-2).				
履修上の注意	辞書を引いて予習する。熟語・慣用表現はよく復習しておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	古文「伊勢物語」あづま下り 古文「伊勢物語」筒井筒・あづさ弓 「古今和歌集」「新古今和歌集」 精選現代文評論(3)「技術者の心」 精選現代文評論(1)「恐怖とはなにか」 評論(1)「恐怖とはなにか」 後期中間試験 小説(1)「山月記」 小説(1)「山月記」 小説(1)「山月記」II 「山月記」「狐憑」との比較 評論(1)「大人への条件」 評論(1)「大人への条件」 評論(1)「大人への条件」 詩「永訣の朝」他1編 実施する	古典文法 和歌の修辞法 和歌におけるあいまい表現 技術・文学における拘束条件 心理学上の自我の定義 自我と恐怖感 中島敦の文学 漢語表現I 詩人としての素質 二作品の中の詩人の比較 大人になることの曖昧化 人間成長のずれ 生理的成人と社会的成人 宮沢賢治の表現			
教科書	「国語総合」「精選現代文」大修館書店				
参考図書	「日本語新版(上)」金田一春彦 岩波新書				
評価方法	定期試験70%、小テストあるいは課題30%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学概論A Invitation to Humanities and Social Science A	2	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	木原 淳
授業概要	江戸後期から第二次世界大戦後までの日本史を概観する。				
到達目標	現代日本や国際社会の動きを理解し、考える上で不可欠な、日本近代史に関わる基本的知識を習得する。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	指定された次回の授業範囲部分を下読みし、分からない語句を調べておくこと。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期末試験	鎖国体制の動揺(1) 鎖国体制の動揺(2) 新しい諸思想 開国 明治維新 中央集権の確立 殖産興業 対外関係の変容 文明開化 士族の反乱と民権運動 立憲体制の形成 日清戦争 日清戦争後の政治 日露戦争 日露戦争後の政治 実施する		外国船の来航 鎖国の維持 諸藩の改革 天保の改革 国学と洋学 社会批判の思想 ペリーの来航 開国の影響 幕政の対立 討幕運動の展開 廃藩置県 近代的軍制 地租改正 官営工場 国立銀行 日清関係 岩倉使節団 明治啓蒙 学校教育の成立 西南戦争 国会開設への動き 憲法制定 法典編纂 条約改正問題 朝鮮問題 下関条約と三国干渉 台湾統治 日英同盟 戦争の経緯 韓国併合 満州進出		
教科書	日本史B(清水書院)				
参考図書	ビジュアルワイド図説日本史(東京書籍)、日本史Bノート				
評価方法	定期試験を75%、課題を25%として評価する				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学概論B Invitation to Humanities and Social Science B	2	1 (30)	必修	後期 週2時間 B	木原 淳
授業概要	日露戦争後の社会から第二次大戦後の占領期までを日本近代史を概観する				
到達目標	現代日本の社会と政治・経済を形成する基本的な経緯と知識を習得する。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	指定された次回の授業範囲部分を下読みし、分からない語句を調べておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	近代産業の発展 社会主義運動 大正政変 第一次世界大戦 大戦後の世界 大戦景気と恐慌 政党政治の発展 大正デモクラシー 昭和初期の外交 全体主義の時代 日中戦争 第二次世界大戦 占領下の政治 日本の再独立 大戦と科学技術の発達 実施する	産業革命の進展 財閥と地主 「社会問題」の発生 労働運動 桂園時代 大正政変 日本の参戦と権益拡大 シベリア出兵 ベルサイユ条約と民族運動 ワシントン体制 大戦景気 米騒動 戦後恐慌 原敬内閣 普通選挙法と治安維持法 立憲主義 社会主義と社会運動 幣原外交 強硬外交 世界恐慌 軍部の台頭 満州事変 国家総動員体制 日米交渉の経緯 ポツダム宣言 憲法改正 経済の民主化 冷戦の激化 講和条約 真理と倫理の 딜레마 技術者倫理の萌芽			
教科書	日本史B(清水書院)				
参考図書	ビジュアルワイド図説日本史(東京書籍)、日本史Bノート				
評価方法	定期試験を75%、課題を25%として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
保健・体育 Health and Physical Education	2	2 (60)	必修	前期・後期 週2時間 C	根本 昌樹 秋山秀博
授業概要	心身の総合的な発達を目指し、基礎的、基本的な運動技術を習得する。現代社会における健康について心身の機能を中心に理解し、自らの健康を保持増進できる能力と態度を養う。				
到達目標	①各種運動の実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を目指す。 ②公正、協力、責任等の態度を育てる。 ③生涯を通じて継続的に運動ができる能力を養う。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-2), (A-3), (A-4).				
履修上の注意	基礎的な技術・体力トレーニングの際、事故のないように、とくに授業前日の健康管理に努めること。また健康上の問題点については、担当教官に必ず事前に申し出ておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	陸上	短距離の技術			
第2週	陸上	ハードル走			
第3週	陸上	跳躍技術			
第4週	陸上	混成競技			
第5週	陸上	混成競技			
第6週	バスケットボール	パス・キャッチ			
第7週	バスケットボール	ドリブルショット			
第8週	バスケットボール	パスゲーム			
第9週	バスケットボール	パスゲーム			
第10週	バスケットボール	ゲーム			
第11週	サッカー	キック各種			
第12週	サッカー	ドリブル・ヘディング・シュート			
第13週	水泳	水中運動の特性			
第14週	水泳	各種泳法			
第15週	水泳	時間泳・距離泳			
前期期末試験	実施しない				
後期 第16週	体力テスト	屋内種目			
第17週	体力テスト	屋内種目			
第18週	サッカー	キック各種、リフティング			
第19週	サッカー	ドリブル、ヘディング、シュート			
第20週	サッカー	パス&コントロール、簡易ゲーム			
第21週	サッカー	ゲーム			
第22週	サッカー	ゲーム			
第23週	バスケットボール	ゲーム			
第24週	バスケットボール	ゲーム			
第25週	バスケットボール	ゲーム			
第26週	保健	わが国の健康水準と病気の傾向			
第27週	保健	健康のとらえ方と適切な意思決定・行動選択			
第28週	保健	ヘルスプロモーションと健康21			
第29週	保健	日常の生活行動と生活習慣病			
第30週	保健	喫煙・飲酒・薬物乱用と健康			
後期期末試験	実施する				
教科書	新保健体育、加賀谷・高石他、大修館;新保健ノート、大修館				
参考図書	Active Sports 総合版、大修館				
評価方法	実技評価、レポート、定期試験を60%、活動記録、課題を40%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
美術 Fine Arts	2	1 (30)	選択	後期 週1時間 C	高杉 和久
授業概要	自分の手を動かして物事を判断する感性を養い、種々の対象物のデッサンの技術を学ぶ。				
到達目標	①美術の歴史を通して、人間の営みと自然のかかわり合いを考察すること。 ②社会人としての知性と教養を磨くこと。 ③職業人としての基礎となるデッサンの技術を身につける。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(E-2). (E-3). (E-4).				
履修上の注意	実技においては、自由な創造を第一義に考え、感性の解放をテーマに、楽しみながら創作する。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	美術についての初歩の心構え ルネッサンス美術鑑賞 同上 教科書の勉強 同上 手のデッサン 立方体のデッサン 同上 ネジのデッサン 同上 車のデッサン 同上 同上 同上 学生作品に対する総括的な講評 実施しない	平面と立体に関する描画方法等 「手」をじっくり見ることにより観察力を養う。			
教科書	高校美術1、日本文教出版				
参考図書					
評価方法	平素の成績(作品・課題等)を100%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
近代経済史 Modern Economic History	2	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	川崎 俊郎
授業概要	産業革命以降の世界の歴史を、経済を中心に学習する				
到達目標	①資本主義社会の基本的な仕組みを理解できる。 ②世界全体を中心(列強)・半周辺(従属国)・周辺(植民地)の相互関係から理解できる。 ③中心(列強)におけるヘゲモニーの推移を理化する。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5).				
履修上の注意	講義内容は相互に関連しているので、ノートの整理を必ず行うこと。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期末試験	アジア・アフリカの植民地化と日本1 アジア・アフリカの植民地化と日本2 アジア・アフリカの植民地化と日本3 アジア・アフリカの植民地化と日本4 世界大戦の時代1 世界大戦の時代2 世界大戦の時代3 世界大戦の時代4 世界大戦の時代5 世界大戦の時代6 世界大戦の時代7 米ソ冷戦の時代1 米ソ冷戦の時代2 米ソ冷戦の時代3 現代社会の課題 実施する		東方問題、アラブナショナリズム、植民地戦争 イギリスのインド統治の特色、東南アジアの植民地化 アヘン戦争、東アジアの三角貿易、中国ナショナリズム 明治維新、日本の近代化、日本の帝国主義 第一次世界大戦の原因と結果、イギリスの衰退 ロシア革命の原因と結果、ソビエト連邦の特質 戦間期の世界経済、ヴェルサイユ・ワシントン体制 植民地支配の動揺、列強のヘゲモニー争い 世界恐慌、ブロック経済、ファシズム 第二次世界大戦の原因と結果①、ヨーロッパの再編 第二次世界大戦の原因と結果②、アジアの再編 冷戦構造、パクスアメリカーナ アジア・アフリカの独立、アジア、アフリカの経済的従属 資本主義経済の変容、社会主義経済の限界 前期授業の総括		
教科書	高等学校 世界史A、木下康彦ほか、清水書院				
参考図書					
評価方法	定期試験75%、レポートおよび課題25%で評価する				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
社会科学調査法 Social Science Reserch Methods	2	1 (30)	必修	後期 週2時間 B	川崎 俊郎
授業概要	社会科学分野を中心にレポート・論文作成に必要な資料検索・加工・分析の考え方と技能を学習する。あわせてレポート・論文作成時に最低限守るべきルールも学習する。				
到達目標	①社会科学分野を中心に、レポートや論文作成に必要な資料の検索と収集をすることができる。 ②検索・収集した資料を目的に応じて加工・分析が行える。 ③レポート・論文作成にあたって最低限守るべきルールを理解した上で実行できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-3), (A-4), (D-2), (D-3), (F-2), (F-3).				
履修上の注意	各種の資料と調査方法は、それぞれの目的に応じて作成されていることを理解すること。また課題は期限を厳守し、様式などは指示通りに提出すること。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	社会科学調査法の概要 社会科学分野の資料と調査 文献資料を利用した調査1 文献資料を利用した調査2 文献資料を利用した調査3 統計資料を利用した調査1 統計資料を利用した調査2 統計資料を利用した調査3 地図資料を中心とした調査1 地図資料を中心とした調査2 地図資料を中心とした調査3 地図資料を中心とした調査4 そのほかの資料の利用方法 調査とレポート作成時のルール 総合演習 実施する		レポート・論文の概要、調査を行う理由 資料の種類と分類、調査法の種類 文献検索・収集、一般書、辞典類を利用した調査 新聞・雑誌の記事を利用した調査とその限界点 学術雑誌の種類と特徴、学術雑誌を利用した調査 統計の種類と特徴、利用する場合の注意点 表の作成を中心とした統計資料の加工と分析 グラフの作成を中心とした統計資料の加工と分析 地図の種類と特徴、利用する場合の注意点 地形図の読図①(地形・土地利用など) 地形図の読図②(分布・立地など) 主題図の利用と作成方法 写真等の映像資料、インタビュー資料、野外調査ほか 資料入手、引用、分析などに関するルール 授業全体の総復習とまとめ		
教科書					
参考図書					
評価方法	期末試験75%、レポートや課題の成績25%として総合的に評価する				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
ミニ研究 Research Practice	2	1 (30)	必修	前期 週2時間 C	全教員 (ただし専攻科特別研究 担当者を除く)
授業概要	担当教員から出された課題研究テーマを1年次の後半にとりまとめ、学生に提示する。学生は希望するテーマを選択し、2年前期に担当教員の指導のもとでミニ研究を行い、前期末にミニ研究発表会において成果を報告する。				
到達目標	課題研究を通して、低学年のうちに「自分で調べる・考える・文章にまとめる・報告する・人前で発表する」という基礎的能力を養い、高学年での学習に必要な資質を身につける。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(E-1),(E-2)				
履修上の注意	受動的な学習態度ではなく、積極的かつ自発的に研究に取り組む事が望まれる。				
授業計画 学生は担当教員の指導のもと、下記のようなテーマについて研究を進める。平成18年度の課題テーマ(テーマ総数45)をいくつか以下に列挙する。					
テーマ例					
<ul style="list-style-type: none"> ・戦前における柔道技の変遷 ・コンクリートの強さの秘密を探る ・知能ロボットの制作による,機械及び制御技術の探求 ・数学を活用しよう ・ルービック・キューブで遊ぼう ・テニスのストリングの張力とボールの跳び方の関係について ・オーディオ機器の自作に挑戦 ・天体写真を撮ろう - 昼間に見える星を見よう ・和本・洋本を作ってみよう ・将棋等の知能ゲームプログラムの歴史 ・オノマトペ分析 —— マンガに見られるオノマトペ(音喩・形態)分析 ・岡倉天心を通して日本の伝統文化とその歴史を考える ・国際会議に参加したつもりでコンピュータを英語で説明しよう ・TeX による数式を含む文書の作成 ・戦史を研究する ・いわき学をつくる…いわきについてあれこれ考え、調べてみよう ・教わってないのにどうしてわかるの? — 文法知識のなぜ ・ステレオグラムで3Dアートを作ろう ・生物の不思議-おもしろい実験・観察でたしかめる ・小中学校の授業支援 ・英語の話し言葉の研究(語用論入門)からダイアログ制作へ ・身近な地域をリモートセンシング技術で調べる ・地図化してみる日本と世界 ・インドについて調べる ・地球温暖化対策について ・福島県生まれの文学者を調べる ・観測する技術〜リモートセンシングの世界〜 ・社会の仕組みについて考える ・英語と日本語の違いを捜そう ・数学の歴史 ・ハーブの秘密を探る ・強い橋構造を創ろう ・暗渠をつくる ・新聞を読む 					
教科書	各テーマについて指導教員より指示がある。				
参考図書	各テーマについて指導教員より指示がある。				
評価方法	指導教員点(80%)、チーム発表点(20%)として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
生物 Biology	3	2 (60)	必修	通年 週2時間 A	榎田 正行
授業概要	細胞の発見からはじめ遺伝子の発見、遺伝子の操作と利用にいたる歴史を学び、遺伝子工学にふれ、生命と倫理について考える。				
到達目標	①科学史上の発見の経緯や歴史の実験を学ぶこと。 ②科学者が何を考え、何を知らうとして研究したかを理解すること。 ③生活に生かせるように、保全生物学を理解すること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1). (B-4).				
履修上の注意	科学の基礎的な文語を正しく理解する。化学的知識・物理学的知識を必要とするので、履修したことを再確認する。季節や環境に応じた生命活動の変化を観察する。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	第1章もし、こんな植物があったなら	環境汚染を修復してくれる植物			
第2週	第1章もし、こんな植物があったなら	大気汚染を知らせてくれる植物等			
第3週	第1章もし、こんな植物があったなら	石油原料の代わりになる植物			
第4週	第2章そのような新植物がつけなかったわけ	植物改良の歴史、育種とはどういうことか			
第5週	第2章そのような新植物がつけなかったわけ	メンデルの遺伝法則と生物の種			
第6週	第2章そのような新植物がつけなかったわけ	突然変異			
第7週	前期中間試験				
第8週	第3章夢の実現	分子生物学の発展			
第9週	第3章夢の実現	遺伝子の本体、DNA			
第10週	第3章夢の実現	蛋白質がつけられる仕組み			
第11週	実験:細胞を見る	実験:顕微鏡で細胞核・染色体・赤血球・血流を観察			
第12週	第3章夢の実現	「種の壁」を越える			
第13週	第3章夢の実現	「種の壁」を越える(続き)			
第14週	第1章から第3章までのまとめ	1から3章のまとめ			
第15週	前期末試験の解説	前期のまとめ			
前期末試験	実施する				
後期 第16週	第4章植物バイオテクノロジーの誕生	植物に異なる種の遺伝子を導入する			
第17週	第4章植物バイオテクノロジーの誕生	導入する遺伝子の工夫、細胞から植物体へ			
第18週	実験:タンパク質の変性	熱変性、強酸による変性、重金属イオンによる変性			
第19週	第4章植物バイオテクノロジーの誕生	植物の遺伝子組換え研究のルール			
第20週	第5章こんな植物ができた	身近になった新植物			
第21週	第5章こんな植物ができた	除草剤でも枯れない植物			
第22週	後期中間試験	null			
第23週	第5章こんな植物ができた	害虫がつかない植物			
第24週	第5章こんな植物ができた	除草剤で枯れなくて、害虫もつかない植物			
第25週	第5章こんな植物ができた	その他の有用新植物、新植物の存在意義			
第26週	糖の実験	実験:糖度計の原理と糖度測定、DNAは五炭糖			
第27週	第6章植物バイオテクノロジーの将来	21世紀に生まれる新植物、分子農業の誕生			
第28週	第6章植物バイオテクノロジーの将来	食べるワクチン、遺伝子組換え技術は何が危険か			
第29週	第6章植物バイオテクノロジーの将来	新植物の栽培と環境、遺伝子組換え食品を科学的に見る			
第30週	まとめ(学年末試験の解説)	1年のまとめ			
後期末試験	実施する				
教科書	新植物をつくりだす(ジュニア新書) 岡田吉美 著 岩波書店;総合図説生物 監修 田中隆荘 他2名 第一学習社				
参考図書	生命とは何か 金子邦彦 著 東京大学出版会				
評価方法	定期試験の成績を70%、小テストや課題の総点を30%として評価する				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語A English A	3	4 (120)	必修	通年 週4時間 A	坂内 昌徳
授業概要	テキストの講読とテキストを使った様々な言語活動、LL教室におけるTOEICテスト対策トレーニングを平行して行う。				
到達目標	①TOEICの出題形式に慣れることにより各自が得点力を向上させることができる。 ②テキストに使用されている語彙や構文が理解できる。 ③テキストが伝えようとする内容を理解できる。 ④テキストに使用されている表現を用いながら一定の意思の疎通を図ることができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	テキストの英文の意味を理解した上で、繰り返し音読して英文をそのまま頭に入れるように努力してほしい。復習として、練習問題などを行って語彙、構文等の定着をはかってほしい。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	Lesson 1, TOEIC模擬テスト1		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第2週	Lesson 1, TOEIC Listening & Reading 1-2		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第3週	Lesson 1, TOEIC Listening & Reading 3		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第4週	Lesson 2, TOEIC模擬テスト2		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第5週	Lesson 2, TOEIC Listening & Reading 4-5		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第6週	Lesson 2, TOEIC Listening & Reading 6		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第7週	前期中間試験, TOEIC模擬テスト3		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第8週	Lesson 3, TOEIC Listening & Reading 7-8		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第9週	Lesson 3, TOEIC Listening & Reading 9		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第10週	Lesson 3, TOEIC 模擬テスト4		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第11週	Lesson 4, TOEIC Listening & Reading 10		宣言文の展開, 語彙とその用法・表現		
第12週	Lesson 4, TOEIC 模擬テスト5		宣言文の展開, 語彙とその用法・表現		
第13週	Lesson 4, TOEIC 試験		宣言文の展開, 語彙とその用法・表現		
第14週	Lesson 5, TOEIC 復習(1)		新聞記事の展開, 語彙とその用法・表現		
第15週	Lesson 5, TOEIC 問題練習		新聞記事の展開, 語彙とその用法・表現		
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	Lesson 5, TOEIC 模擬テスト6		新聞記事の展開, 語彙とその用法・表現		
第17週	Lesson 6, TOEIC Listening & Reading 11-12		講演・物語文の展開, 語彙とその用法・表現		
第18週	Lesson 6, TOEIC Listening & Reading 13		講演・物語文の展開, 語彙とその用法・表現		
第19週	Lesson 6, TOEIC 模擬テスト7		講演・物語文の展開, 語彙とその用法・表現		
第20週	Lesson 7, TOEIC Listening & Reading 14-15		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第21週	Lesson 7, TOEIC Listening & Reading 16		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第22週	後期中間試験, TOEIC 模擬テスト8		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第23週	Lesson 7, TOEIC Listening & Reading 17-18		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第24週	Lesson 8, TOEIC Listening & Reading 19		紀行文の展開, 語彙とその用法・表現		
第25週	Lesson 8, TOEIC 模擬テスト9		紀行文の展開, 語彙とその用法・表現		
第26週	Lesson 8, TOEIC Listening & Reading 20		紀行文の展開, 語彙とその用法・表現		
第27週	Lesson 9, TOEIC 模擬テスト10		紀行文の展開, 語彙とその用法・表現		
第28週	Lesson 9, TOEIC 試験		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第29週	Lesson 9, TOEIC 復習(2)		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
第30週	Lesson 9, TOEIC 問題練習		論説文の展開, 語彙とその用法・表現		
後期期末試験	実施する				
教科書	CROWN ENGLISH READING 霜崎 實 著、三省堂				
参考図書					
評価方法	定期試験50%、TOEIC-IPテスト30%、小テスト15%、課題5%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英会話 English Conversation	3	2 (60)	必修	通年 週2時間 C	渡辺 エリカ Thomas Davis
授業概要	This course will focus on using English in a variety of "everyday" situations. The main emphasis will be on spoken English, with students working in small groups to present on a variety of topics. Written work will supplement these presentations.				
到達目標	1) Be able to plan and make presentations in English for at least 10 minutes, on a variety of topics with greater fluency than in previous years. 2) Be able to feel comfortable in conversing with native English speaker on a variety of everyday topics, without worrying about mistakes. 3) Improve listening skills by being able to listen to conversations by native English speakers and understand them to a greater degree than in previous years. 4) Improve grammar skills, especially the use of verb tenses, in both written and spoken English.				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	Students have some early listening exercises to prepare them for the later projects.				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	Orientation/Introduction	Names, Spelling and Titles			
第2週	Spring Vacations	Listening for Names and Details			
第3週	Dream Holidays	Physical appearance			
第4週	Travel: Hotels and plane reservations	Listening for Details			
第5週	Travel: Planning vacations	Clothes			
第6週	Travel: Making travel brochures	Listening for Details			
第7週	Travel: Presentations	Telling Time and Numbers			
第8週	Travel: Presentations	Listening for Time and Numbers			
第9週	Jobs: Descriptions, qualities, personalities	Dates, Schedules and Appointments			
第10週	Jobs: wh-questions, preparing job interviews	Listening for Dates, Schedules and Details			
第11週	Jobs: Presentations	Occupations			
第12週	Jobs: Presentations	Listening for Details and Attitudes			
第13週	Jobs: Job interview presentations	Sports activities			
第14週	Jobs: Presentations	Listening for Details and Frequency			
第15週	1st term review	Household objects			
前期末試験	実施しない				
後期 第16週	Summer vacations	Listening for Details			
第17週	Story writing: Character and story building	Family members			
第18週	Story writing: Character and story building	Listening for Similarities			
第19週	Story writing: Use of adjectives and reporting	Invitations			
第20週	Story writing: Presentations	Listening for Acceptance and Refusal			
第21週	Play: Script writing	Prices, money, and shopping			
第22週	Play: Script writing/practice	Listening for Details			
第23週	Play: Practice/Presentations	Restaurants and Food			
第24週	Play: Presentations	Listening for Details and Attitudes			
第25週	Christmas Party: Presentations	Socializing, Parties			
第26週	Movie: Listening activities	Listening for Greeting, Topics and Details			
第27週	Movie: Listening activities	On Vacation			
第28週	Interview: Critical thinking	Listening for Attitudes and Details			
第29週	Interview: Critical thinking	Rooms, Furniture			
第30週	Review and conclusion	Listening for Details			
後期末試験	実施しない				
教科書					
参考図書					
評価方法	平素の成績(小テスト、プレゼンテーション、課題など)を100%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語特論 English Seminar	3	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	宮沢 泰彦 (石原万里)
授業概要	日本人学生がアメリカ留学に際して出会うと想定される様々な場面についてテキスト・音声・映像を用いて理解し、自然な速度の英語によるコミュニケーションを疑似体験する。				
到達目標	①自然な速度で話される英語の音声特徴に慣れ、概要が聴き取れる。 ②場面に応じて類推力を働かせ、概要を理解できる。 ③頻出する語彙、文法、構文を自然なスピードで理解し、自らも使用できるようにする。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	事前に予習をし各課の文字情報はすべて把握した上で授業に臨み、授業では音声に集中すること。付録のDVDは自宅で繰り返し視聴すること。このほかにも普段から各種メディアを利用して生の英語音声に少しでも多く接する努力を積むこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	授業概要説明 / Unit 1	I'm Looking for Old Main Hall 方角の尋ね方、地図の読み方			
第2週	Unit 1	I'm Looking for Old Main Hall 道順を説明する、オリエンテーション			
第3週	Unit 2	I Have a 10:30 Appointment 相談する、助言を求める/与える			
第4週	Unit 2	I Have a 10:30 Appointment アカデミック・チューターとのやりとり			
第5週	Unit 3	Are You Looking for a Place to Stay? アパートの探し方			
第6週	Unit 3	Are You Looking for a Place to Stay? 学生課窓口での対応			
第7週	前期中間試験				
第8週	コラム	On Campus Safety			
第9週	Unit 4	I'll Be Glad to Room with You Guys ルームシェアについて			
第10週	Unit 4	I'll Be Glad to Room with You Guys ブーメラン・チルドレン			
第11週	Unit 5	The Experience Is Really Important 将来の展望を語る			
第12週	Unit 5	The Experience Is Really Important クラブ活動について			
第13週	Unit 6	I'll Get Right on It インターンシップの意義について			
第14週	Unit 6	I'll Get Right on It アルバイトと就職活動の関連について			
第15週	既習事項の復習	Unit 4 - 6 の復習、Job Hunting			
前期末試験	実施する				
後期 第16週	Unit 7	Just Tell Me 相手の意向の尋ね方、対立回避の方法			
第17週	Unit 7	Just Tell Me 対人摩擦:異文化交流の視点から			
第18週	Unit 8	Don't Worry About It 電話の対応/伝言の残し方			
第19週	Unit 8	Don't Worry About It 対立解消のテクニック			
第20週	Unit 9	Come Here and Give Me a Hug 親しい人との挨拶のいろいろ			
第21週	Unit 9	Come Here and Give Me a Hug アメリカ人の豊かな老後			
第22週	後期中間試験				
第23週	コラム	The Golden Years			
第24週	Unit 10	I Love You Mom 招待を受ける/断る際の表現			
第25週	Unit 10	I Love You Mom アメリカの家庭生活について			
第26週	Unit 11	I Deserve a Better Grade クレームをつける際の表現			
第27週	Unit 11	I Deserve a Better Grade 授業参加の姿勢と成績評価の相関			
第28週	Unit 12	Any Other Questions? 出題傾向・試験勉強の仕方を尋ねる			
第29週	Unit 12	Any Other Questions? 大学での効果的な学習法について			
第30週	既習事項の復習	Unit 10 - 12 の復習、Teacher Evaluations			
後期末試験	実施する				
教科書	Campus Encounters、大八木廣人ほか、Macmillan Language House				
参考図書					
評価方法	定期試験を70%、小テスト・課題等を30%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
日本語特論 I Japanese Language Seminar I	3	2 (60)	必修	通年 週 2 時間 A	大森 房子
授業概要	表現技術を伸ばし、文字情報獲得能力の拡大をめざした評論文読解を行う。さらに要約文をまとめる力を身につける。				
到達目標	教科書に加えて、課題小論文や記事などを読む。また、就職試験に出題される漢字熟語、慣用句を取り上げる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-1). (F-2).				
履修上の注意	辞書を引いて予習をする。また、新聞記事、時事問題資料を読んで、角度の異なる見解について理解を深める。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第 1週	評論(3)「仮面と変身願望」	要約文の作り方			
第 2週	評論(3)「仮面と変身願望」	ペルソナ			
第 3週	近代の文章「たけくらべ」	樋口一葉と作品			
第 4週	近代の文章「たけくらべ」	明治時代の文学			
第 5週	評論(1)「あらまほしき自然」	自然をめぐる意識			
第 6週	評論(1)「あらまほしき自然」	論理的な文章構成の仕方			
第 7週	前期中間試験				
第 8週	近代の文章「日和下駄」	永井荷風と作品			
第 9週	近代の文章「日和下駄」	東京地図と江戸絵図			
第10週	評論(2)「人間の時間について」	普遍的な時間・多元的な時間			
第11週	評論(2)「人間の時間について」	垂直の時間・水平な時間			
第12週	補助教材「難読漢字の読み方」	特殊な読み方をする漢字			
第13週	評論(2)「自己演技と表情」	社交的習慣と儀礼的無関心			
第14週	評論(2)「自己表現と表情」	儀礼的無関心			
第15週	補助教材「故事・ことわざ」	慣用表現			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	評論(1)「ラムネ氏のこと」	ラムネ玉の発明と思想			
第17週	評論(1)「ラムネ氏のこと」	ラムネ氏不在の村			
第18週	評論(1)「ラムネ氏のこと」	戯作者の役割			
第19週	評論(3)「無常ということ」	小林秀雄と作品			
第20週	評論(3)「無常ということ」	心に残ることば			
第21週	小説(2)「冬を越したハチドリ」	翻訳小説			
第22週	後期中間試験				
第23週	評論(2)「的のつく言葉」	日本製漢語のあいまいさ			
第24週	評論(2)「的のつく言葉」	和歌におけるぼかし効果			
第25週	評論(2)「的のつく言葉」	近世から近代までの日本語史			
第26週	評論(2)「的のつく言葉」	日本語のあいまい表現			
第27週	評論(3)「である」と「すること」	権利の上になおむるもの			
第28週	評論(3)「である」と「すること」	近代社会における制度			
第29週	評論(3)「である」と「すること」	日本の急激な近代化			
第30週	評論(3)「である」と「すること」	価値倒錯の転換			
後期期末試験	実施する				
教科書	「国語総合」「精選現代文」大修館書店				
参考図書	就職漢字・故事ことわざ・慣用句練習問題				
評価方法	定期試験70%、小テストあるいは課題30%で、総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
地理 Geography	3	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	吉村 忠晴
授業概要	地表上でみられる人文・社会事象の理解に必要な地理的な見方・考え方 (perspective) と地理的技能 (skill) の基礎を学習する。				
到達目標	①地理情報を入力・分析し、その結果を統計地図・統計グラフに表現することができる。 ②空間的分布・空間的相互作用・立地・空間的拡散の理論を理解し、演習問題を解くことができる。 ③自ら仮説を設定し、それを実証することによって、地理的事象を規定する要因を解明できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (D-3). (D-4). (D-5). (F-1). (F-2). (F-3).				
履修上の注意	学際的な地理的事象を理解するために、広範な視野、多様かつ論理的な思考をもつとともに、常に最新の動向に注視すること。課題は指定された様式に則って期限厳守で提出すること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	人文地理学の課題	地理的な見方・考え方、地理的技能、地理学の対象			
第2週	人文地理学の基礎概念	地域概念(等質地域と結節地域)、空間的規則性と地域性			
第3週	地理情報の利用(1)	地域調査のプロセス、文献・統計・地図の入手方法			
第4週	地理情報の利用(2)	統計数値の加工			
第5週	地理情報の利用(3)	統計グラフの種類、統計グラフの作成方法と読解			
第6週	地理情報の利用(4)	地図の役割、地図の種類			
第7週	地理情報の利用(5)	地形図の読図(自然条件)			
第8週	地理情報の利用(6)	地形図の読図(土地利用)			
第9週	地理情報の利用(7)	地形図の読図(施設立地)			
第10週	地理情報の利用(8)	統計地図の種類			
第11週	地理情報の利用(9)	統計地図の作成方法と読解			
第12週	新しい地理情報技術	リモート・センシング、地理情報システム(GIS)、GPS			
第13週	空間的分布(1)	分布パターンの判別			
第14週	空間的分布(2)	分布図の比較			
第15週	総合演習(1)	前期の総復習			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	空間的分布(3)	地理的プロファイリング、犯罪発生地図			
第17週	空間的相互作用(1)	重力モデル、都市システムの形成			
第18週	空間的相互作用(2)	ネットワークの構成要素、ネットワークのデザイン			
第19週	空間的相互作用(3)	距離の概念、近接性の測定			
第20週	空間的相互作用(4)	最短経路問題、最小建設費問題、シュタイナー問題			
第21週	空間的相互作用(5)	輸送計画法			
第22週	立地(1)	立地因子と立地条件、ホテリングの立地モデル			
第23週	立地(2)	小売商業施設の立地、圏域の決定			
第24週	立地(3)	公共施設の立地(メデアン問題、センター問題、カバー問題)			
第25週	立地(4)	ウェーバーの工業立地論、立地型による工業の分類			
第26週	立地(5)	工業地域の形成、集積の経済、産業の空洞化現象			
第27週	空間的拡散(1)	距離減衰的拡散、階層的拡散、ロジスティック曲線			
第28週	空間的拡散(2)	方言圏論、疾病の伝播			
第29週	空間的拡散(3)	イノベーションの拡散			
第30週	総合演習(2)	1年間の総復習			
後期期末試験	実施する				
教科書	高等学校 新地理A最新版、高橋 彰ほか、帝国書院 新高等地図、山下脩二ほか、東京書籍				データでみる 県勢2006年版、(財)矢野恒太記念会
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を75%、レポート・課題・小テストの成績を25%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
保健・体育 Health and Physical Education	3	2 (60)	必修	通年 週2時間 C	橋本 彰夫
授業概要	心身の総合的な発達を目指し、基礎的・基本的な運動技術を習得する。				
到達目標	①各種運動の実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を目指す。 ②公正、協力、責任等の態度を育てる。 ③生涯を通じて継続的に運動ができる能力を養う。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4).				
履修上の注意	基礎的な技術・体力トレーニングの際、事故のないよう、とくに授業前日の健康管理につとめること。また、健康上の問題については、担当教官に必ず事前にも申し出ておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	テニス	マナー、グリップ、構え方			
第2週	テニス	ストローク(フォア、バック)			
第3週	テニス	ボレー(フォア、バック)			
第4週	テニス	サーブ、スマッシュ、ロブ			
第5週	テニス	ルール理解と簡易ゲーム			
第6週	テニス	ゲーム			
第7週	卓球	グリップと構え方、フォアハンド系			
第8週	卓球	バックハンド系、カット系			
第9週	卓球	サーブ、サーブスレーブ、フットワーク			
第10週	卓球	ドライブ、ショート、スマッシュ			
第11週	水泳	水中運動の特徴			
第12週	水泳	クロール、平泳ぎ			
第13週	水泳	長距離泳、時間泳			
第14週	体力テスト	室内種目			
第15週	体力テスト	室内種目			
前期期末試験	実施しない				
後期 第16週	テニス	ゲーム			
第17週	テニス	ゲーム			
第18週	卓球	ゲーム			
第19週	卓球	ゲーム			
第20週	卓球	ゲーム			
第21週	卓球	ゲーム			
第22週	卓球	ゲーム			
第23週	バドミントン	グリップと構え方			
第24週	バドミントン	各種ストローク(フォア、バック)			
第25週	バドミントン	(リア、フロント)コートからの各種ショット			
第26週	バドミントン	サーブと簡易ゲーム			
第27週	バドミントン	ルール理解			
第28週	バドミントン	ゲーム			
第29週	バドミントン	ゲーム			
第30週	バドミントン	ゲーム			
後期期末試験	実施しない				
教科書					
参考図書	Active Sports 総合版、大修館				
評価方法	実技評価、レポートを60%、活動記録、課題を40%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語 English	4	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	中山 悟視
授業概要	様々な職業人へのインタビューを通して、自然な速度で話される英語を聴き取る力と英語によるコミュニケーションの基礎力を養う。CALL教材を用いてTOEICに即応した聴解力と読解力を養う。				
到達目標	①自然な速度で話される英語の音声特徴に慣れ、概要が聴き取れる。 ②場面に応じて類推力を働かせ、概要を理解できる。 ③TOEICの出題形式に慣れ、基本的な問題には時間内に対応することができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	事前に予習をし各課の文字情報はすべて把握した上で授業に臨み、授業では音声に集中すること。普段から各種メディアを利用して生の英語音声に少しでも多く接する努力を積むこと。放課後はLL教室でTOEICの模擬問題に挑戦し、正解を暗記してしまうくらいになるまで繰り返すこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	Unit 1/ TOEIC演習	Getting to Know an American Student, 重要語句の習得			
第2週	Unit 1 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第3週	Unit 2/ TOEIC演習	Graduation and Then What?, 重要語句の習得			
第4週	Unit 2 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第5週	Unit 3/ TOEIC演習	Communication Is What It's All About, 重要語句の習得			
第6週	Unit 3 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第7週	前期中間試験				
第8週	Unit 4/ TOEIC演習	Studying in the USA: Japanese Perspective, 重要語句の習得			
第9週	Unit 4 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第10週	Unit 5/ TOEIC演習	The Grandest Hotel in La Jolla, 重要語句の習得			
第11週	Unit 5 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第12週	Unit 6 / TOEIC演習	The Internet: Challenging the Way People Travel, 重要語句の習得			
第13週	Unit 6 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第14週	TOEIC演習	前期の復習			
第15週	TOEIC演習	TOEIC中間テスト			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	Unit7	Challenges and Rewards of Working Moms, 重要語句の習得			
第17週	Unit7 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第18週	Unit 8	What Do People Know about You?, 重要語句の習得			
第19週	Unit 8 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第20週	Unit 9	A Doctor's Tips for Travelers, 重要語句の習得			
第21週	Unit 9 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第22週	後期中間試験				
第23週	Unit 10	Research: 99% Perspiration; 1% Inspiration, 重要語句の習得			
第24週	Unit 10 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第25週	Unit 11	Being a Golf Pro Is More than Playing Golf, 重要語句の習得			
第26週	Unit 11 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第27週	Unit 12	Keeping Your Jaguar Purring, 重要語句の習得			
第28週	Unit 12 / TOEIC演習	文法事項の確認 / Listening 練習			
第29週	TOEIC演習	後期の復習			
第30週	TOEIC演習	TOEIC期末テスト			
後期期末試験	実施する				
教科書	Talk of the Town、大八木廣人ほか、Macmillan Language House				
参考図書	速読英単語・必修編、風早 寛、増進会出版社 (すでに持っているもの)……				
評価方法	定期試験を50%、TOEICの成績を30%、小テスト・課題等を20%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語特論 English Seminar	4	2 (60)	必修	通年 週2時間 A	坂内 昌徳 (石原万里)
授業概要	様々な題材を扱った論説文を英語で読む。				
到達目標	①論説文の展開が理解できる。 ②テキストに使用されている語彙や構文が理解できる。 ③テキストが伝えようとする内容を理解できる。 ④テキストに使用されている表現を用いながら一定の意思の疎通を図ることができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4), (F-5), (F-6).				
履修上の注意	テキストの英文の意味を理解した上で、繰り返し音読して英文をそのまま頭に入れるように努力してほしい。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	Session 1: What a Painting Can Tell Us	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第2週	Session 1: What a Painting Can Tell Us	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第3週	Session 2: Split-Brain Research	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第4週	Session 2: Split-Brain Research	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第5週	Session 3: The Process of Image Formation	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第6週	Session 3: The Process of Image Formation	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第7週	前期中間試験	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第8週	Session 4: The Nightly Battle	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第9週	Session 4: The Nightly Battle	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第10週	Session 5: The Eiffel Tower	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第11週	Session 5: The Eiffel Tower	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第12週	Session 6: The Expanding Universe	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第13週	Session 6: The Expanding Universe	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第14週	Session 7: The Blind Watchmaker	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第15週	Session 7: The Blind Watchmaker	論説文の展開、語彙・語法・構文			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	Session 8: The Rise of the Labor Market	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第17週	Session 8: The Rise of the Labor Market	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第18週	Session 9: On Speaking of Speaking	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第19週	Session 9: On Speaking of Speaking	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第20週	Session 10: How Our Ancestors Survived	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第21週	Session 10: How Our Ancestors Survived	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第22週	後期中間試験	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第23週	Session 11: Disneyland: America's Sacred Land	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第24週	Session 11: Disneyland: America's Sacred Land	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第25週	Session 12: Cambridge University	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第26週	Session 12: Cambridge University	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第27週	Session 13: The Myth of Uniqueness	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第28週	Session 13: The Myth of Uniqueness	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第29週	Session 14: Teenage Nation	論説文の展開、語彙・語法・構文			
第30週	Session 14: Teenage Nation	論説文の展開、語彙・語法・構文			
後期期末試験	実施する				
教科書	The Universe of English 東京大学教養学部英語教室編 東京大学出版会				
参考図書					
評価方法	定期試験70%、小テスト・課題等30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学(現代) Japanese Literature	4	1 (30)	選択	後期 週2時間 A	高橋 宏宣
授業概要	太宰治の生涯、太宰治の生きた時代状況を概説する。その後、作品解釈の方法を講じ、テキストに収められた作品を解釈する。				
到達目標	①作品を繰り返し読むことによって、作品に繰り返し表れるパターン、逆に取って書かれていない空白部分といった、作品の内的機構を把握できるようにする。 ②①で把握した内容を、論理的に記述できるようにする。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-3). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	テキスト所収以外の太宰治作品も読んでみる。気に入った作品は何度も繰り返し読むことが望ましい。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	太宰治概説(1) 太宰治概説(2) 太宰治概説(3) 作品解釈の方法 「走れメロス」 「走れメロス」 後期中間試験 「駈込み訴え」 「駈込み訴え」 「駈込み訴え」 「富嶽百景」 「富嶽百景」 「富嶽百景」 「東京八景」 「東京八景」 実施する		人とその作品 太宰治の生涯 太宰治と時代状況 文芸理論の基礎 作中人物の造形とその配置 メロスはなぜ勇者となりえたのか 作中人物の造形とその配置 語りの方法 作品解釈と関連する諸問題 「富士」の形象化について 富士と「私」の対比 「俗」なものから「聖」なるものへ 私小説的方法について 作家太宰治と作中の「私」		
教科書	『走れメロス』、太宰治、新潮文庫				
参考図書	『太宰治全集』、筑摩書房				
評価方法	定期試験の成績100%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学(古典) Japanese Literature	4	1 (30)	選択	後期 週2時間 A	高野 克宏
授業概要	『方丈記』の読解・解釈を通して豊かな言語感覚を養うとともに、先人たちの教養と人生観に接することによって今日の意味を考える。				
到達目標	古文を読解・解釈する基礎的力を身につけるとともに、理解した内容を文章化して表現することができるようになることを目標とする。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-3).				
履修上の注意	『方丈記』に影響を及ぼし、日本人の思惟構造の形成に深く関わる仏教思想の基礎を、平安時代末期という時代と関連させつつ理解する。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	『方丈記』を取り巻く文学状況1 『方丈記』を取り巻く文学状況2 『方丈記』解題1 『方丈記』解題2 鴨長明の人生1 鴨長明の人生2 後期中間試験 『方丈記』本文講読1 『方丈記』本文講読2 『方丈記』本文講読3 『方丈記』本文講読4 『方丈記』本文講読5 『方丈記』本文講読6 『方丈記』本文講読7 『方丈記』本文講読8 実施する	平安期の日記・物語・随筆について 代表的随筆『枕草子』・『徒然草』について 内容概観 『池亭記』について・題名について 人生の前半と蹉跌 河合社禰宜職獲得の失敗・隠遁生活 「ゆく河の流れは絶えずして・・・」 「予ものの心を知れりしより・・・」 「又治承四年卯月のころ・・・」 「又治承四年水無月の比・・・」 「又養和のころとか・・・」1 「又養和のころとか・・・」2 「おほかた、この所に住みはじめし時は・・・」 「抑一期の月かげ傾きて・・・」			
教科書	「岩波文庫 方丈記」市古貞次校注、岩波書店				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績100%				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学(現代) Japanese Literature	4	1 (30)	選択	後期 週2時間 A	大森 房子
授業概要	さまざまな文体の現代文を読み、論理的な思考力と言語感覚を身につける。				
到達目標	読解力の基本となる日本語の表現、熟語、漢字読み・書き方の訓練を行う。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-1), (F-2).				
履修上の注意	就職試験、PI言語分野に出題される長文読解に対応できる実践的な力を養成する。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	SPI・就職対応「長文読解」「対義語・類義語」 SPI・就職対応「長文読解」「対義語・類義語」 「長文の整序問題」「二字・三字熟語」 「長文の整序問題」「慣用句・ことわざ」 SPI・就職対応「長文読解」「同音異義語」 「難読語」「多義語」 「難読漢字」「多義語」 言語問題模擬試験(1) SPI就職対応「長文読解」「初級四字熟語」 SPI・就職対応「長文読解」「中級四字熟語」 SPI言語分野の実戦問題 SPI言語分野の実戦問題 SPI言語分野の実戦問題 SPI言語分野の実戦問題 「難読語の意味」「熟語の読み方」 実施する		内容把握・同意反意語の組み合わせ 空所補充・内容把握・漢字書き方 接続詞の機能、熟語の読み方 文章構成・熟語の読み方 内容把握と漢字書き方 故事成句・同音異義語の意味 後期中間試験 空所補充、内容把握、熟語 指示語の指すもの・空所補充・四字熟語 語句の意味・長文読解など 語句の意味・長文読解など 語句の意味・長文読解など 語句の意味・長文読解など 特殊な読み方の漢字の意味		
教科書	プリント教材「国語常識問題」「SPI言語問題」「就職用漢字書き取り・読み方問題」など。				
参考図書					
評価方法	定期試験70%、小テスト30%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学(古典) Japanese Literature	4	1 (30)	選択	後期 週2時間 A	中野 弘子
授業概要	近世の浮世草子として比類ない、井原西鶴の文学を通し、ままたらぬ浮世に生きた人間像を読みとる。				
到達目標	実話を題材に描かれた西鶴の『好色五人女』を読み、恋愛を生命と考えた五人女の官能的な情念を読みとる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-3). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	西鶴の文体に馴れ親しむためにも音読を大切にす。また、江戸時代特有の言葉を辞書などで調べ、考察する。 (例:大節季、虫出しの神鳴、駒引銭など。)				
授業計画	授業項目			理解すべき内容	
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	導入、西鶴と浮世草子 巻の1、お夏清十郎 巻の1、お夏清十郎 巻の2、樽屋おせん 巻の2、樽屋おせん 巻の3、暦屋おせん 後期中間試験 巻の3、暦屋おせん 巻の4、八百屋お七 巻の4、八百屋お七 巻の4、八百屋お七 立石寺・最上川・羽黒 酒田・象潟・越後路・一振 那古の浦・金澤・小松・那谷・山中 敦賀・種の浜・大垣 実施する			西鶴像と時代背景の考察 恋は闇夜を昼の国… 命のうちの七百両のかね 恋に涙輪の井戸替え… 木屑の杉ようじ一寸先の命 姿の関守… 身の上の立ち聞 大節季はおもい闇… ふんどしかきたる君様… 雪の 立石寺詣では清風の勅め・最上での俳諧指導・羽黒山 日本海の名勝像潟での入魂の文章・北陸道での省筆 愛弟子早世を嘆く・実盛の甲へ感動・温泉宿での美談 種の浜の秋景色・終着大垣そして新たなる旅路へ	
教科書	角川文庫ソフィア 暉峻康隆訳注『好色五人女』				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績100%				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学(古典) Japanese Literature	4	1 (30)	選択	後期 週2時間 A	蛭田 徹
授業概要	『伊勢物語』の講読・解釈を通して、「色好み」の世界に生きる主人公「昔男」のひたむきな愛情の数々と優雅で洗練された<みやび>を理解する。				
到達目標	それぞれの章段の人物の心理と行動とが、本文叙述とその集約としての和歌とによって、豊かに表現されていることを理解し、併せて「歌物語」の特質と和歌の役割を理解する。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-3).				
履修上の注意	記紀歌謡から現代短歌まで受け継がれている和歌は、平安時代の貴族の間では社交上欠かせない教養のひとつであったことを理解する。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	平安時代の文学について(1) 平安時代の文学について(2) 『伊勢物語』本文講読1 『伊勢物語』本文講読2 『伊勢物語』本文講読3 『伊勢物語』本文講読4 後期中間試験 『伊勢物語』本文講読5 『伊勢物語』本文講読6 『伊勢物語』本文講読7 『伊勢物語』本文講読8 『伊勢物語』本文講読9 『伊勢物語』本文講読10 『伊勢物語』本文講読11 『伊勢物語』本文講読12 実施する		物語の系譜を中心に 物語の系譜を中心に 一、二段 三、四、五段 十、十二、十三段 十六、十八段 二十一段 二十四段 四十五段 六十五段(1) 六十五段(2) 八十二段(1) 八十二段(2) 百七段、百二十五段		
教科書	岩波文庫『伊勢物語』大津有一校中、岩波書店				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績100%				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
法学 Law	4	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	木原 淳
授業概要	私法を中心とする近代市民法の基礎と、憲法典を中心とする公法制度の概要について説明する。				
到達目標	近代市民法の基礎知識とその体系を習得する共に、ルールに依拠して問題解決を図る能力を習得する				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-3). (A-5). (C-3). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	授業に際しては条文を必ず参照し、問題となる論点や制度の法体系上の位置づけを理解すること				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期末試験 後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期末試験	法の概念 法の適用と解釈 市民法の体系 近代市民法の諸原則 権利の主体(1) 権利の主体(2) 権利の主体(3) 権利の客体 法律行為(1) 法律行為(2) 法律行為(3) 債務不履行責任 不法行為責任(1) 不法行為責任(2) 刑事責任の根拠 実施する 消極的基本権(1) 消極的基本権(2) 消極的基本権(3) 能動的基本権 積極的基本権 包括的基本権 人権理論の諸問題 司法権(1) 司法権(2) 国民主権と議会(1) 国民主権と議会(2) 内閣と行政(1) 内閣と行政(2) 日本国憲法成立の法理 平和主義 実施する	法概念の普遍性と歴史性 紛争の解決 解釈の準則 「市民社会」の意義と市民法の構造 近代私法の基本原則とその修正 公法と私法 権利能力の平等と行為能力の制限 法人の役割と分類 会社制度 株式会社の意義と構造 物権と債権 法律行為総論 意思表示 心裡留保 虚偽表示 錯誤 詐欺 債務不履行の態様 効果 不法行為法の発展と制度の概要 不法行為法の諸課題 自由意志論と決定論 人身の自由 経済的自由とその制約 精神的自由とその制約 選挙権 請願権 議員定数不均衡訴訟 生存権とその実現 個人の尊重 自己決定権 人権の私人間効力 外国人の権利 司法制度の概要 違憲審査制度 最高機関性と国民主権 唯一の立法機関 国会の組織および権能 行政の概念 議院内閣制 制定過程 国体論争 戦争放棄条項 防衛法制			
教科書	五十嵐清『私法入門』(改訂版)、有斐閣。小嶋和司・大石眞『憲法概観』(第6版)、有斐閣。;コンサイス判例六法(2006年版)、三省堂				
参考図書					
評価方法	定期試験を75%、課題を25%として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
経済学 Economics	4	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	吉村 忠晴
授業概要	経済学の基本となる理論、分析手法を学習する。具体的には、ミクロ経済学の家計行動、企業行動、市場メカニズムと、マクロ経済学の国民所得の決定、IS-LM分析を取り上げる。				
到達目標	①家計行動の理論を文章、グラフ、数値計算によって体系的に説明できる。 ②企業行動の理論を文章、グラフ、数値計算によって体系的に説明できる。 ③市場のメカニズムを文章、グラフ、数値計算によって体系的に説明できる。 ④国民所得決定の理論を文章、グラフ、数値計算によって体系的に説明できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-3). (C-1). (C-3). (C-4). (C-6).				
履修上の注意	経済学の学習には、数学に関する基本的知識と計算能力およびグラフの作成・読解力が不可欠となるので、各自復習しておくこと。また、新聞等で常に最新の経済動向を把握しておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	経済学の課題	経済学の基本問題、経済主体、経済循環、市場メカニズム、ミクロとマクロ			
第2週	需要と供給(1)	需要曲線、供給曲線、市場均衡			
第3週	需要と供給(2)	需要曲線と供給曲線のシフト、弾力性			
第4週	家計行動の理論(1)	予算制約線、相対価格、予算制約線のシフト			
第5週	家計行動の理論(2)	効用関数、限界効用			
第6週	家計行動の理論(3)	無差別曲線、限界代替率			
第7週	家計行動の理論(4)	最適消費量			
第8週	家計行動の理論(5)	所得効果と代替効果、需要関数の導出			
第9週	企業行動の理論(1)	短期と長期、生産関数、平均生産物と限界生産物			
第10週	企業行動の理論(2)	等産出量曲線、技術的限界代替率、等費用線、最適投入量			
第11週	企業行動の理論(3)	費用関数の導出、短期費用関数、固定費用と可変費用、平均費用と限界費用			
第12週	企業行動の理論(4)	収入関数、最適生産量			
第13週	企業行動の理論(5)	損益分岐点と操業停止点			
第14週	企業行動の理論(6)	短期供給関数の導出、長期均衡			
第15週	総合演習(1)	前期の総復習			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	完全競争市場(1)	完全競争市場の条件、市場均衡の調整過程、余剰分析			
第17週	完全競争市場(2)	パレート最適、厚生経済学の基本定理			
第18週	不完全競争(1)	独占市場、独占均衡			
第19週	不完全競争(2)	独占の弊害、複占			
第20週	市場の失敗	外部性、公共財、逆選択、モラル・ハザード			
第21週	国民所得の概念	国民経済計算、GDP、三面等価の原則			
第22週	国民所得決定の理論(1)	有効需要の原理、ケインズ型消費関数			
第23週	国民所得決定の理論(2)	均衡国民所得の決定、乗数理論、投資乗数			
第24週	国民所得決定の理論(3)	インフレ・ギャップとデフレ・ギャップ、政府の財政活動、均衡予算乗数			
第25週	投資決定の理論	利率と割引現在価値、投資の限界効率、投資関数			
第26週	貨幣の需要と供給(1)	貨幣の機能、ハイパワード・マネー、信用創造			
第27週	貨幣の需要と供給(2)	流動性選好理論、利率の決定、流動性のわな			
第28週	IS-LM分析(1)	IS曲線、LM曲線、財市場と貨幣市場の同時均衡			
第29週	IS-LM分析(2)	財政政策と金融政策の効果、クラウディング・アウト			
第30週	総合演習(2)	1年間の総復習			
後期期末試験	実施する				
教科書	新版ミクロ経済学、嶋村紘輝、成文堂 マクロ経済学の教科書については、授業時に指示する。				
参考図書	例題で学ぶ 初歩からの経済学、白砂堤津耶・森脇祥太、日本評論社 キーワード入門経済学、河村 朗・高屋定美・阿部公一、嵯峨野書院				
評価方法	定期試験の成績を75%、レポート・課題・小テストの成績を25%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
体育 Physical Education	4	1 (30)	必修	後期 週2時間 C	秋山 秀博 根本昌樹,五十嵐幸一
授業概要	種目の特性を理解し、互いに協力して安全に練習やゲームができるようにする。				
到達目標	①種目の特性を理解し、高度な運動技能を習得する。 ②ゲームの運営及び審判法を身につける。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4).				
履修上の注意	現代生活における余暇を自己開発の視点から、とくに生涯スポーツの現代的意義について問題意識を深めよう。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	各種運動 体力テスト 体力テスト テニス テニス テニス ゴルフ ゴルフ ゴルフ ゴルフ ゴルフ ソフトボール ソフトボール ソフトボール ソフトボール 実施しない	体ほぐし 屋内種目 屋外種目 ショートストローク(フォアハンド・バックハンド)、サーブ ストローク(フォアハンド・バックハンド)、ボレー スマッシュ、パッシング、ロブ、簡易ゲーム リーグ戦(ダブルス) グリップの方法、スウィング練習(プラスチックボール) グリップの方法、スウィング練習(実球) スウィング練習(実球)、ショートアイアン ショートアイアンによるアプローチショット キャッチボール、トスバッティング 守備練習、フリーバッティング ルールの理解、ゲーム ゲーム			
教科書					
参考図書	Active Sports 総合版、大修館				
評価方法	実技評価、レポートを60%、活動記録、課題を総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
日本語特論Ⅱ Japanese Language Seminar Ⅱ	4	1 (30)	選択	前期 週2時間 A	大森 房子
授業概要	就職・大学編入学試験に出題された課題小論文や言語問題に出題される語彙を学習する。				
到達目標	SPI言語問題、国語常識問題に対応できる言語能力を身に付ける。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-1). (F-2).				
履修上の注意	模擬試験を行い、その結果を参考にして困難点や弱点となる事項を集中的に学ぶ。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験	「熟語と慣用句」 「反意語・同意語」 「同音異義語」「多義語」 長文「文章整序問題」 長文理解「空欄補充問題」 長文理解「空欄補充問題」 前期中間試験 言語問題模擬試験(1) 「四字熟語中級—上級」 言語問題模擬試験(2) 「難読語の読み方」 「難読語の読み方」 「長文内容把握問題」 「長文内容把握問題」 「故事成語」 実施する		特殊な読みの漢字・慣用句 反意語・同意語の組み合わせ 基礎—中級程度の語句の整理 接続詞、接続助詞 指示詞、語句の意味 指示詞、慣用句、語句の意味 熟語の読み方と意味 特殊な読み方の漢字 特殊な読み方の漢字 要旨理解 要旨理解 漢語熟語とその意味		
教科書	プリント教材「国語常識問題」「SPI言語問題」「就職試験用書き取り・読み問題」など。				
参考図書					
評価方法	定期試験70%、小テスト30%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語 English	5	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	西山 公紀
授業概要	様々な英文に触れて、語彙を習得し、読解力を養う。 またCALL教材を用いリーディング、リスニングの能力を高める。				
到達目標	既習事項の定着をはかり、より速く英文を把握できるようにする。 TOEICに対応できる能力を養う。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	辞書を用いて予習し、内容を自分なりに理解して授業に臨むこと。 LL教室を使って、TOEICテストのための演習を各自で行うこと。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	TOEIC演習 Suzuki's Address to the Plenary		課の内容把握、必修語彙の習得、文法事項の確認		
第2週	TOEIC演習 Severn Suzuki's Address to the Plenary		課の内容把握、必修語彙の習得、文法事項の確認		
第3週	TOEIC演習 Free the Children		課の内容把握、必修語彙の習得、文法事項の確認		
第4週	TOEIC演習 Free the Children		課の内容把握、必修語彙の習得、文法事項の確認		
第5週	TOEIC演習 The Legacy of Landmines		課の内容把握、必修語彙の習得、文法事項の確認		
第6週	TOEIC演習 The Legacy of Landmines		課の内容把握、必修語彙の習得、文法事項の確認		
第7週	前期中間試験		復習		
第8週	TOEIC演習 President Kennedy's Inaugural Address		課の内容把握、必修語彙の習得、文法事項の確認		
第9週	TOEIC演習 President Kennedy's Inaugural Address		課の内容把握、必修語彙の習得、文法事項の確認		
第10週	TOEIC演習 Albert Einstein		課の内容把握、必修語彙の習得、文法事項の確認		
第11週	TOEIC演習 Albert Einstein		課の内容把握、必修語彙の習得、文法事項の確認		
第12週	TOEIC演習 Dr. Maathai's Nobel Peace Prize		課の内容把握、必修語彙の習得、文法事項の確認		
第13週	TOEIC演習 Dr. Maathai's Nobel Peace Prize		課の内容把握、必修語彙の習得、文法事項の確認		
第14週	TOEIC演習、Many Winters		課の内容把握、必修語彙の習得、文法事項の確認		
第15週	TOEIC演習、Many Winters		課の内容把握、必修語彙の習得、文法事項の確認		
前期期末試験	実施する				
教科書	Read and Think:12 Inspiring Messages、岩永道子、朝日出版社				
参考図書					
評価方法	定期試験50%、TOEICテスト30%、小テスト・課題等20%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人間科学特講 Human Science Seminar	5	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	川崎 俊郎 笠井 哲
授業概要	前期では、近代以降の日本における、産業と経済の歴史について理解を深める。後期は、科学技術史と技術者倫理の基本を学び、事例研究で倫理的判断を学習する。				
到達目標	①近代日本における資本主義と西洋技術の受容が果たした役割を理解できる。 ②日本の経済成長において、政府の財政・金融政策、産業政策が果たした役割を理解できる。 ③近代以降の科学技術の歴史を概観し、その中における科学技術と社会との関わりについて理解することで、技術者倫理の必要性を認識することができる。 ④技術者倫理(含ビジネス倫理)の基礎を理解するとともに、実事例のグループ討議等の模擬体験学習を通して倫理的な判断力を身につけることができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5) JABEE基準1(1)との対応:(a). (b).				
履修上の注意	板書を写すだけのノートは作らないこと。自分のノートを「作る」ように心がけること。グループ討議は、いわばロールプレイであるが、本当に自分の問題と考えて参加すること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	近代経済成長の始まり	経済成長の理論と実際、江戸時代の日本経済			
第2週	開港と維新	鎖国の意義、プロト工業化			
第3週	殖産興業1	明治政府の産業政策			
第4週	殖産興業2	松方財政の意義、ヨーロッパ諸国との比較			
第5週	産業化の時代1	軽工業の産業革命、日清戦争の影響			
第6週	産業化の時代2	重工業の産業革命、日露戦争の影響			
第7週	産業化の時代3	日本における技術革新とその限界			
第8週	二重構造1	都市化と技術社会、第一次世界大戦の影響			
第9週	二重構造2	農村問題、世界恐慌の影響			
第10週	計画化と民主化1	統制経済、共産主義、第二次世界大戦の影響			
第11週	計画化と民主化2	戦後改革、朝鮮特需、基軸通貨ドル			
第12週	高度経済成長1	企業投資と財政・金融政策の効果			
第13週	高度経済成長2	人口移動、産業人口構成の変化、教育の変化			
第14週	高度経済成長3	公害問題、石油危機、高度成長終了の要因			
第15週	日本経済の歴史と特徴	前期授業の総括			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	17世紀科学革命とは何か	近代科学の誕生、科学革命の背景と意義			
第17週	ベーコンとデカルト	近代哲学と科学技術の成立			
第18週	産業革命と資本主義社会の形成	近代職業倫理と資本主義の精神			
第19週	日本のものづくりと職人の技	技術と技能、技術の伝来			
第20週	二度の世界大戦と科学技術	第一次大戦と化学兵器、第二次大戦と原子爆弾			
第21週	発達した資本主義と発展途上国	人口の爆発、南北格差			
第22週	米ソ冷戦時代の科学技術	核とコンピュータの開発、日本の高度成長と技術			
第23週	豊かな生活と環境への負荷	自然権思想の拡大、宇宙船地球号			
第24週	新しい倫理の課題	ビジネス倫理と技術者倫理			
第25週	何のための、誰のための科学技術か	地球全体のための科学技術			
第26週	倫理綱領ないし倫理規定	倫理綱領の意義と規定内容			
第27週	テクノロジーアセスメント	テクノロジーアセスメントとリスクアセスメント			
第28週	内部告発と説明責任に関する事例研究	組織における技術者、公衆に対する責任			
第29週	安全性とコスト、PL法に関する事例研究	トレードオフ、法的・倫理的責任			
第30週	まとめ	専門職業人の使命			
後期期末試験	実施する				
教科書	前期は「詳説日本史B」山川出版社(2年次の日本史で使用)を利用する。後期は、「技術者倫理」松島隆裕編、学術図書出版社。				
参考図書	前期は「日本経済史 全8巻」、梅村又次ほか編、岩波書店。 後期は新聞、ビデオを使用する。				
評価方法	定期試験75%、課題およびレポート25%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
体育 Physical Education	5	1 (30)	必修	前期 週2時間 C	秋山 秀博 根本昌樹,五十嵐幸一
授業概要	種目の特性を生かし、より高度な練習やゲームができるようにする。				
到達目標	①各自の特性を生かし、社会人として役立つ専門知識と高度な実践的運動技術を習得する。 ②生涯を通じて継続的に運動を実践できる能力を身につける。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4).				
履修上の注意	現代生活における余暇を自己開発の視点から捉えるとともに、生涯スポーツの現代的意義についての問題意識を深めよう。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	オリエンテーション	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第2週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第3週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第4週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第5週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第6週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第7週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第8週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第9週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第10週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第11週	各班ごとの体育活動	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン)			
第12週	水泳	クロール・平泳ぎ			
第13週	水泳	長距離泳・時間泳			
第14週	体力テスト	屋内種目			
第15週	体力テスト	屋外種目			
前期期末試験	実施しない				
教科書					
参考図書	Active Sports 総合版、大修館				
評価方法	実技評価、レポートを60%、活動記録、課題を40%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
日本語特論Ⅱ Japanese Language Seminar II	5	1 (30)	選択	前期 週2時間 A	大森 房子
授業概要	国語常識問題や課題文に対応できる漢字・語彙力・読解力を高めるために過去問題を多数取り上げる。				
到達目標	現代文を多方面から考察して語彙に関する知識を深め、英語表現を新語、時事用語を使って翻訳する訓練を含む。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-1). (F-2).				
履修上の注意	新聞・雑誌記事を読む習慣をつけ、時事用語や新語の表現を把握しておくこと。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験	「国語一般常識問題」「長文読解問題」 「国語一般常識問題」「長文読解問題」 「熟語の読み方と意味」上級 「日本語と英語のことわざ」 「日本語と英語のことわざ」 SPI言語問題対応「慣用句の意味」 前期中間試験 英語時事用語の翻訳 英語時事用語の翻訳 英語時事用語の翻訳 「時事用語と世相語」「新聞表現の特徴」 「和製英語と英語表現のギャップ」 「就職試験問題－長文読解」 「就職試験問題－長文読解」 「外来語表記の揺れ・省略」 実施する		要旨把握 漢字熟語の完成問題、要旨把握 四字熟語、慣用句、ことわざ 英語のことわざの訳し方 日本語と英語の相違点 故事成語・ことわざ 経済の専門用語・時事用語 単語の翻訳、揭示表現の翻訳 新語、流行語を使った翻訳 用語の定義と実例 和製英語の例と言語の表現 内容把握と指示詞 内容把握と接続詞 最近の流行語表現		
教科書	就職用漢字・国語常識問題・英字新聞記事などプリント教材				
参考図書					
評価方法	定期試験70%、小テスト30%で総合的に評価する。				